自動車運転に注意が必要な薬剤リスト　　2017年3月13日初版作成
（当院採用薬を中心に作成）　　2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| 1%ディプリバン注-キット | ○ | (6)本剤の影響が完全に消失するまでは、自動車の運転、危険を伴う機械の操作等に従事しないよう、患者に注意すること。 |
| MSコンチン錠10mg<br>MSコンチン錠30mg<br>MSコンチン錠60mg | ○ | (2)眠気，眩暈が起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| PL配合顆粒 | ○ | (2)眠気を催すことがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように十分注意するこ |
| アーチスト錠1.25mg<br>アーチスト錠2.5mg<br>アーチスト錠10mg<br>アーチスト錠20mg | ○ | めまい・ふらつきがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者（特に投与初期や増量時）には、自動車の運転等危険を伴う機械の作業をしないように注意させること。 |
| アーテン錠(2mg)<br>アーテン散1% | ○ | (3)ねむけ、眼の調節障害及び注意力・集中力・反射機能等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意すること。 |
| アーリーダ錠60mg | | （2）痙攣発作があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には |
| アイトロール錠10mg<br>アイトロール錠20mg | ○ | 本剤の投与開始時には、他の硝酸・亜硝酸エステル系薬剤と同様に血管拡張作用による頭痛等の副作用を起こすことがある。このような場合には鎮痛剤を投与するか、減量又は投与中止するなど適切な処置を行うこと。 また、これらの副作用のために注意力、集中力、反射運動能力等の低下が起こることがあるので、このような場合には、自動車の運転等の危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| アイファガン点眼液0.1% | | (2)眠気、めまい、霧視等を起こすことがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事する場合は注意させること。 |
| アイベータ配合点眼液 | | 8.2　眠気、めまい、霧視等を起こすことがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事する場合は注意させること。 |
| アイミクス配合錠LD<br>アイミクス配合錠HD | | (7)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| アイラミド配合懸濁性点眼液 | | 眠気、めまい、霧視等を起こすことがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事する場合は注意させること。 |
| アイリーア硝子体内注射液40mg/mL<br>アイリーア硝子体内注射用キット40mg/mL | ○ | 本剤の硝子体内注射後、一時的に霧視等があらわれることがあるため、その症状が回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事させないよう注意すること。 |
| アイリーア8mg硝子体内注射液114.3mg/mL<br>アイリーア8mg硝子体内注射用キット114.3mg/mL | ○ | 本剤の硝子体内注射後、一時的に霧視等があらわれることがあるため、その症状が回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事させないよう注意すること。 |
| アカルボース錠50mg「サワイ」<br>アカルボース錠100mg「サワイ」 | | 低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| アキネトン錠1mg<br>アキネトン細粒1% | ○ | (4)眠気、調節障害及び注意力・集中力・反射機能等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転など危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意すること。 |
| アキネトン注射液5mg | ○ | (4)眠気、調節障害及び注意力・集中力・反射機能等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転など危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意すること。 |
| アクトス錠15<br>アクトス錠30 | | 低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト　　2017年3月13日初版作成
（当院採用薬を中心に作成）　　2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| アシクロビル錠200mg「VTRS」<br>アシクロビル錠400mg「VTRS」 | | (8)意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。なお、腎機能障害患者では、特に意識障害等があらわれやすいので、患者の状態によっては従事させないよう注意すること。［「用法・用量に関連する使用上の注意」の項参照］ |
| アシクロビル点滴静注液250mg「トーワ」 | | 意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。なお、腎機能障害患者では、特に意識障害等があらわれやすいので、患者の状態によっては従事させないよう注意す |
| アシクロビル点滴静注用250mg「PP」 | | (5)意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。なお、腎機能障害患者では、特に意識障害等があらわれやすいので、患者の状態によっては従事させないよう注意すること〔<用法・用量に関連する使用上の注意>の項参照〕。 |
| アシクロビル顆粒40%「トーワ」 | | (8)意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。なお、腎機能障害患者では、特に意識障害等があらわれやすいので、患者の状態によっては従事させないよう注意すること。（「用法・用量に関連する使用上の注意」の項参照） |
| アジスロマイシン錠250mg「DSEP」 | | (4)意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。 |
| アジルサルタン錠10mg「武田テバ」<br>アジルサルタン錠20mg「武田テバ」 | | 降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| アジルバ錠10mg<br>アジルバ錠20mg<br>アジルバ錠40mg<br>アジルバ顆粒1% | | (5)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| アジレクト錠1mg<br>アジレクト錠0.5mg | ○ | (2)日中の傾眠、前兆のない突発的睡眠又は睡眠発作があらわれることがあるため、本剤投与中の患者には自動車の運転、機械の操作、高所での作業等、危険を伴う作業には従事させないように注意すること。 |
| アスペノンカプセル10<br>アスペノンカプセル20 | ○ | (4)本剤の投与中に，手指振戦，めまい，ふらつき等の精神神経系症状が発現し，増悪する傾向がある場合には，直ちに減量又は投与を中止すること（精神神経系の症状は用量依存的に発現しやすい）．また，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること. |
| アゼプチン錠0.5mg<br>アゼプチン錠1mg | ○ | (1)眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等の危険を伴う機械の操作には従事させないように十分注意すること。 |
| アゼルニジピン錠8mg「ケミファ」<br>アゼルニジピン錠16mg「ケミファ」 | | (3)降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等、危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| アゾルガ配合懸濁性点眼液 | | (5)本剤の点眼後、一時的に目がかすむことがあるので、機械類の操作や自動車等の運転には注意させること。 |
| アダラートCR錠10mg<br>アダラートCR錠20mg<br>アダラートCR錠40mg | | 降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので，高所作業，自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること. |
| アダラートL錠10mg<br>アダラートL錠20mg | | 降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので，高所作業，自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させる |
| アタラックス-Pカプセル25mg<br>アタラックス-Pカプセル50mg<br>アタラックス-Pドライシロップ2.5% | ○ | (1)眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械類の操作には従事させないよう注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| アタラックス-P注射液(25mg/ml)<br>アタラックス-P注射液(50mg/ml) | ○ | (1)眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械類の操作には従事させないよう注意するこ |
| アタラックス錠10mg<br>アタラックス錠25mg | ○ | (1)眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械類の操作には従事させないよう注意するこ |
| アテディオ配合錠 | | (8)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| アデムパス錠0.5mg<br>アデムパス錠1.0mg<br>アデムパス錠2.5mg | | (5)臨床試験において，めまい等が認められているので，高所作業，自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること. |
| アテレック錠5<br>アテレック錠10<br>アテレック錠20 | | (2)降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| アドシルカ錠20mg | | 臨床試験において、めまいや視覚障害が認められているので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| アトモキセチン錠5mg「トーワ」<br>アトモキセチン錠10mg「トーワ」<br>アトモキセチン錠25mg「トーワ」<br>アトモキセチン錠40mg「トーワ」 | ○ | (6)眠気、めまい等が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| アトロピン注0.05%シリンジ「テルモ」 | ○ | 視調節障害，散瞳等を起こすことがあるので，本剤投与中の患者には，自動車の運転等，危険を伴う機械の操作に従事させないなど注意すること. |
| アトロピン硫酸塩注0.5mg「ニプロ」 | ○ | 視調節障害、散瞳等を起こすことがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事させないなど注意すること。 |
| アナストロゾール錠1mg「NK」 | | （その他の注意）<br>本剤との関連性は明確ではないが、他社の臨床試験において無力症や傾眠等が報告されているので、自動車の運転や機械の操作には注意すること。 |
| アナフラニール錠10mg<br>アナフラニール錠25mg | ○ | (1)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| アネレム静注用50mg | ○ | 本剤の影響が完全に消失するまでは、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事しないよう、患者に注意すること。 |
| アピドラ注ソロスター | | （慎重投与）<br>低血糖を起こすと事故につながるおそれがある患者（高所作業、自動車の運転等の作業に従事している患者等） |
| アブストラル舌下錠100μg<br>アブストラル舌下錠200μg<br>アブストラル舌下錠400μg | ○ | (6)眠気、めまいが起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| アベロックス錠400mg | ○ | (3)失神，意識消失，めまい等があらわれることがあるので，自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること．投与にあたっては，これらの副作用が発現する場合があることを患者等に十分に説明すること．［「副作用」の項参照］ |
| アポカイン皮下注30mg | ○ | 警告<br>(1)突発的睡眠、傾眠がみられることがある。海外において、突発的睡眠を起こした症例の中には、傾眠や過度の睡眠のような前兆を認めなかった例が報告されている。患者には本剤の突発的睡眠及び傾眠等についてよく説明すること。本剤投与中には、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないよう注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| アポハイドローション20% | | 抗コリン作用により、眼の調節障害（視力障害、霧視等）、めまい、眠気があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明 |
| アマージ錠2.5mg | ○ | (3)片頭痛あるいは本剤投与により眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械操作に従事させないよう十分注意すること。 |
| アマリール0.5mg錠<br>アマリール1mg錠<br>アマリール3mg錠 | | 重篤かつ遷延性の低血糖を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。また、低血糖に関する注意について、患者及びその家族に十分徹底させること。 |
| アムロジピンOD錠2.5mg「トーワ」<br>アムロジピンOD錠5mg「トーワ」<br>アムロジピンOD錠10mg「トーワ」 | | (1)降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| アモキサン細粒10%<br>アモキサンカプセル10mg<br>アモキサンカプセル25mg<br>アモキサンカプセル50mg | ○ | (1)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| アモバン錠7.5<br>アモバン錠10 | ○ | (2)本剤の影響が翌朝以後に及び、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| アリセプトD錠3mg<br>アリセプトD錠5mg<br>アリセプトD錠10mg | ○ | (6)アルツハイマー型認知症及びレビー小体型認知症では、自動車の運転等の機械操作能力が低下する可能性がある。また、本剤により、意識障害、めまい、眠気等があらわれることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事しないよう患者等に十分に説明すること。 |
| アリドネパッチ27.5mg<br>アリドネパッチ55mg | ○ | アルツハイマー型認知症では、自動車の運転等の機械操作能力が低下する可能性がある。また、本剤により、意識障害、めまい、眠気等があらわれることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事しないよう患者等に十分に説明すること。 |
| アリミデックス錠1mg | | 本剤との関連性は明確ではないが、臨床試験において無力症や傾眠等が報告されているので、自動車の運転や機械の操作には注意すること。 |
| アルダクトンA細粒10%<br>アルダクトンA錠25mg<br>アルダクトンA錠50mg | | (2)降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| アルドメット錠125<br>アルドメット錠250 | | 投与初期又は増量時に眠気、脱力感等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う作業に注意させるこ |
| アルプラゾラム錠0.4mg「サワイ」<br>アルプラゾラム錠0.8mg「サワイ」 | ○ | (1)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| アレサガテープ4mg<br>アレサガテープ8mg | ○ | 眠気を催すことがあるので、本剤使用中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう十分注意するこ |
| アレジオン錠10<br>アレジオン錠20 | | 眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に注意させること。 |
| アレディア点滴静注用15mg<br>アレディア点滴静注用30mg | ○ | (9)眠気、めまい、注意力の低下等があらわれることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| アレビアチン散10% | ○ | (4)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| アレビアチン錠25mg<br>アレビアチン錠100mg | ○ | (4)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| アレロックOD錠2.5<br>アレロックOD錠5 | ○ | 眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう十分注意するこ |
| アレロック顆粒0.5% | ○ | (1)眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう十分注意するこ |
| アロチノロール塩酸塩錠5mg「DSP」<br>アロチノロール塩酸塩錠10mg「DSP」 | | (6)めまい・ふらつきがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者（特に投与初期）には、自動車の運転等危険を伴う機械の作業に注意させること。 |
| アロマシン錠25mg | | (4)本剤の使用による嗜眠、傾眠、無力（症）及びめまいが報告されており、このような症状がある場合、機械操作や自動車の運転はさせないよう十分注意すること。 |
| アンペック坐剤10mg<br>アンペック坐剤20mg<br>アンペック坐剤30mg | ○ | (2)眠気、眩暈が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| イーケプラドライシロップ50% | ○ | (2)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| イーケプラ錠250mg<br>イーケプラ錠500mg | ○ | (2)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| イーケプラ点滴静注500mg | ○ | (2)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| イーシー・ドパール配合錠 | ○ | (5)前兆のない突発的睡眠、傾眠、調節障害及び注意力・集中力・反射機能等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意すること。 |
| イーフェンバッカル錠50μg<br>イーフェンバッカル錠100μg<br>イーフェンバッカル錠200μg<br>イーフェンバッカル錠400μg<br>イーフェンバッカル錠600μg<br>イーフェンバッカル錠800μg | ○ | (6)眠気、めまいが起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| イクスタンジカプセル40mg | | (2)痙攣発作があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させるこ |
| イクスタンジ錠40mg<br>イクスタンジ錠80mg | ○ | (2)痙攣発作があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させるこ |
| イニシンク配合錠 | | (12)低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| イフェクサーSRカプセル37.5mg<br>イフェクサーSRカプセル75mg | | (6)眠気、めまい等が起こることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には十分注意させること。また、患者に、これらの症状を自覚した場合は自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事しないよう、指導すること。 |
| イマチニブ錠100mg「ヤクルト」<br>イマチニブ錠200mg「ヤクルト」 | | めまい、眠気、霧視等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させるこ |
| イミグランキット皮下注3mg | ○ | (5)片頭痛あるいは本剤投与により眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械操作に従事させないよう十分注意すること。 |
| イミグラン錠50 | ○ | 片頭痛あるいは本剤投与により眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械操作に従事させないよう十分注意すること。 |
| イミグラン点鼻液20 | ○ | (3)片頭痛あるいは本剤投与により眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械操作に従事させないよう十分注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| イミダプリル塩酸塩錠2.5mg「VTRS」<br>イミダプリル塩酸塩錠5mg「VTRS」 | | (6)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| イルトラ配合錠LD<br>イルトラ配合錠HD | | (11)降圧作用に基づくめまい，ふらつきがあらわれることがあるので，高所作業，自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| イルベサルタン錠50mg「DSPB」<br>イルベサルタン錠100mg「DSPB」<br>イルベサルタン錠200mg「DSPB」 | | 降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| イルベタン錠50mg<br>イルベタン錠100mg<br>イルベタン錠200mg | | (6)降圧作用に基づくめまい，ふらつきがあらわれることがあるので，高所作業，自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| イレッサ錠250 | | (6)臨床試験において無力症が報告されているので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意するよう指導すること。 |
| インヴェガ錠3mg<br>インヴェガ錠6mg<br>インヴェガ錠9mg | ○ | (2)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| インスリングラルギンBS注カート「リリー」<br>インスリングラルギンBS注ミリオペン「リリー」 | | （慎重投与）<br>低血糖を起こすと事故につながるおそれがある患者（高所作業、自動車の運転等の作業に従事している患者等） |
| インスリンリスプロBS注100単位/mLHU「サノフィ」 | | 低血糖があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときは注意すること。 |
| インチュニブ錠1mg<br>インチュニブ錠3mg | ○ | (8)眠気，鎮静等が起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意すること。 |
| インテバンSP25<br>インテバンSP37.5 | ○ | (8)眠気、めまい、ふらつき感等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように十分注意すること。 |
| インデラル錠10mg | | (6)めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者（特に投与初期）には、自動車の運転等危険を伴う機械の作業に注意させること。 |
| インデラル注射液2mg | | (4)めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者（特に投与初期）には、自動車の運転等危険を伴う機械の作業に注意させること。 |
| インヒベース錠0.25<br>インヒベース錠0.5<br>インヒベース錠1 | | (5)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ウインタミン細粒(10%) | ○ | (1)眠気，注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ウゴービ皮下注0.25mgSD<br>ウゴービ皮下注0.5mgSD<br>ウゴービ皮下注1.0mgSD<br>ウゴービ皮下注1.7mgSD<br>ウゴービ皮下注2.4mgSD | | 低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| ウトロゲスタン腟用カプセル200mg | | (3)傾眠状態や浮動性めまいを引き起こすことがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分説明すること。 |
| エイゾプト懸濁性点眼液1% | | (3)本剤の点眼後、一時的に目がかすむことがあるので、機械類の操作や自動車等の運転には注意させること。 |
| エイベリス点眼液0.002% | ○ | 本剤の点眼後、一時的に霧視、羞明等があらわれることがあるため、その症状が回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事させないよう注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト　　2017年3月13日初版作成
（当院採用薬を中心に作成）　　2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| エースコール錠1mg<br>エースコール錠2mg<br>エースコール錠4mg | | (5)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| エカード配合錠LD<br>エカード配合錠HD | | (10)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| エキセメスタン錠25mg「NK」 | ○ | 本剤の使用による嗜眠、傾眠、無力（症）及びめまいが報告されており、このような症状がある場合、機械操作や自動車の運転はさせないよう十分注意すること。 |
| エクア錠50mg | | (8)低血糖及び低血糖症状を起こすおそれがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意する |
| エクジェイド懸濁用錠125mg<br>エクジェイド懸濁用錠500mg | | (6)本剤投与中にめまい、視覚・聴力障害があらわれることがあるので、患者に注意喚起し、本剤投与中は自動車の運転等危険を伴う機械の操作に注意させること。 |
| エクセグラン錠100mg<br>エクセグラン散20% | ○ | (3)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| エクフィナ錠50mg | ○ | 8.1　本剤投与により日中の傾眠、前兆のない突発的睡眠があらわれることがあるため、本剤投与中の患者には自動車の運転、機械の操作、高所での作業等、危険を伴う作業に従事させないように注意すること。［11.1.2参照］ |
| エクメット配合錠LD<br>エクメット配合錠HD | | 低血糖及び低血糖症状を起こすおそれがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意するこ |
| エスゾピクロン錠1mg「DSEP」<br>エスゾピクロン錠2mg「DSEP」<br>エスゾピクロン錠3mg「DSEP」 | ○ | 本剤の影響が翌朝以降に及び、眠気、注意力、集中力、反射運動能力等の低下が起こることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| エチゾラム錠0.25mg「SW」<br>エチゾラム錠0.5mg「SW」<br>エチゾラム錠1mg「SW」 | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| エチゾラム錠0.25mg「トーワ」<br>エチゾラム錠0.5mg「トーワ」<br>エチゾラム錠1mg「トーワ」 | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| エックスフォージ配合OD錠 | | (8)降圧作用に基づくめまい、ふらつき等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| エナラプリルマレイン酸塩錠2.5mg「サワイ」<br>エナラプリルマレイン酸塩錠5mg「サワイ」<br>エナラプリルマレイン酸塩錠10mg「サワイ」 | | (7)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| エバステル錠5mg<br>エバステル錠10mg<br>エバステルOD錠5mg<br>エバステルOD錠10mg | | (1)眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転など危険を伴う機械の操作に注意させること。 |
| エピナスチン塩酸塩錠10mg「VTRS」<br>エピナスチン塩酸塩錠20mg「VTRS」 | | (3)眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に注意させること。 |
| エビリファイOD錠3mg<br>エビリファイOD錠6mg<br>エビリファイOD錠12mg<br>エビリファイOD錠24mg | ○ | (1)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| エビリファイ持続性水懸筋注用300mg<br>エビリファイ持続性水懸筋注用400mg | ○ | (3)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| エビリファイ持続性水懸筋注用300mgシリンジ<br>エビリファイ持続性水懸筋注用400mgシリンジ | ○ | (3)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| エビリファイ錠1mg<br>エビリファイ錠3mg<br>エビリファイ錠6mg<br>エビリファイ錠12mg<br>エビリファイ散1% | ○ | (1)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| エピレオプチマル散50% | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| エプキンリ皮下注4mg<br>エプキンリ皮下注48mg | | 免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群として意識レベルの変化、痙攣発作等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には十分注意さ |
| エフピーOD錠2.5 | ○ | (2)めまい、注意力・集中力・反射機能等の低下が起こることがあるので、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないように注意すること。 |
| エフメノカプセル100mg | | 傾眠状態や浮動性めまいを引き起こすことがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分説明すること。 |
| エブランチルカプセル15mg<br>エブランチルカプセル30mg | | (3)本剤の投与初期又は用量の急増時等に、起立性低血圧に基づく立ちくらみ、めまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う作業に従事する人には注意を与えるこ |
| エプレレノン錠25mg「杏林」 | | 降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させる |
| エペリゾン塩酸塩錠50mg「トーワ」 | ○ | 本剤投与中に脱力感、ふらつき、眠気等が発現することがあるので、その場合には減量又は休薬すること。なお、本剤投与中の患者には自動車の運転など危険を伴う機械の操作には従事させないように注意すること。 |
| エンタカポン錠100mg「アメル」 | ○ | (3)前兆のない突発的睡眠、傾眠、起立性低血圧があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転、高所での作業等、危険を伴う作業には従事させないように注意すること。 |
| エンレスト錠50mg<br>エンレスト錠100mg<br>エンレスト錠200mg | | 降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| オイグルコン錠1.25mg<br>オイグルコン錠2.5mg | | (5)重篤かつ遷延性の低血糖を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。また、低血糖に関する注意について、患者及びその家族に十分徹底させること。 |
| オーラップ錠1mg<br>オーラップ錠3mg<br>オーラップ細粒1% | ○ | (1)ときに眠気、めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| オキシコドン徐放錠5mgNX「第一三共」<br>オキシコドン徐放錠10mgNX「第一三共」<br>オキシコドン徐放錠20mgNX「第一三共」<br>オキシコドン徐放錠40mgNX「第一三共」 | | 眠気、眩暈が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| オキシコドン注射液10mg「第一三共」<br>オキシコドン注射液50mg「第一三共」 | ○ | (2)眠気、眩暈が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| オキシコドン内服液2.5mg「日本臓器」<br>オキシコドン内服液5mg「日本臓器」 | ○ | 眠気、眩暈が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意する |
| オキシコンチンTR錠5mg<br>オキシコンチンTR錠10mg<br>オキシコンチンTR錠20mg<br>オキシコンチンTR錠40mg | ○ | 眠気，眩暈が起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| オキシコンチン錠5mg<br>オキシコンチン錠10mg<br>オキシコンチン錠20mg<br>オキシコンチン錠40mg | ○ | (3)眠気，眩暈が起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| オキノーム散2.5mg<br>オキノーム散5mg<br>オキノーム散10mg<br>オキノーム散20mg | ○ | (2)眠気，眩暈が起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| オキファスト注10mg<br>オキファスト注50mg | ○ | (2)眠気，眩暈が起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| オスタバロ皮下注カートリッジ1.5mg | | 一過性の急激な血圧低下に伴う起立性低血圧、めまい、立ちくらみ、意識消失等があらわれることがあるので、高所での作業、自動車の運転等危険が伴う作業に従事する場合には注意させること |
| オゼンピック皮下注0.25mgSD<br>オゼンピック皮下注0.5mgSD<br>オゼンピック皮下注1.0mgSD | | 低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| オプソ内服液5mg<br>オプソ内服液10mg | ○ | (2)眠気、眩暈が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| オランザピンOD錠2.5mg「トーワ」<br>オランザピンOD錠5mg「トーワ」<br>オランザピンOD錠10mg「トーワ」 | ○ | (9)傾眠、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には高所での作業あるいは自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| オルメサルタンOD錠5mg「DSEP」<br>オルメサルタンOD錠10mg「DSEP」<br>オルメサルタンOD錠20mg「DSEP」<br>オルメサルタンOD錠40mg「DSEP」 | | (7)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| オルメテックOD錠5mg<br>オルメテックOD錠10mg<br>オルメテックOD錠20mg<br>オルメテックOD錠40mg | | 降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| オロパタジン塩酸塩OD錠2.5mg「トーワ」<br>オロパタジン塩酸塩OD錠5mg「トーワ」 | ○ | (1)眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう十分注意するこ |
| オンキャスパー点滴静注用3750 | | 痙攣発作、失神等の中枢神経障害があらわれることがあるので、患者の状態を十分に観察すること。また、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には十分注意させる |
| オンジェンティス錠25mg | | 前兆のない突発的睡眠、傾眠、起立性低血圧、めまいがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転、高所での作業等、危険を伴う作業には従事させないように注意すること |
| カタプレス錠75μg<br>カタプレス錠150μg | | (3)鎮静作用により反射運動等が減弱されることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う作業に注意させること。 |
| カデュエット配合錠1番<br>カデュエット配合錠2番<br>カデュエット配合錠3番<br>カデュエット配合錠4番 | | (1)降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| カナグル錠100mg | | (14)低血糖症状を起こすことがあるので，高所作業，自動車の運転等に従事している患者に投与するときは注意すること．（「重大な副作用」の項参照） |
| カナリア配合錠 | | (14)低血糖症状を起こすことがあるので，高所作業，自動車の運転等に従事している患者に投与するときは注意すること．（「重大な副作用」の項参照） |
| カバサール錠0.25mg<br>カバサール錠1.0mg | ○ | (4)前兆のない突発的睡眠、傾眠、起立性低血圧がみられることがあるので、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業には従事させないよう注意すること。［「副作用」の項参照］ |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| ガバペン錠200mg<br>ガバペン錠300mg<br>ガバペン錠400mg | ○ | (3)傾眠、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| カプトリル錠12.5mg<br>カプトリル錠25mg<br>カプトリル細粒5% | | (10)血圧低下に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者で高所作業、自動車の運転等危険を伴う作業に注意させること。 |
| ガランタミンOD錠4mg「ニプロ」<br>ガランタミンOD錠8mg「ニプロ」<br>ガランタミンOD錠12mg「ニプロ」 | | アルツハイマー型認知症患者では運転能力や機械操作能力が徐々に低下し、また、本剤の投与によりめまい、眠気が起こる可能性があるので、本剤投与中の患者（特に投与開始の数週間）には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に注意するよう指導するこ |
| カルデナリン錠0.5mg<br>カルデナリン錠1mg<br>カルデナリン錠2mg<br>カルデナリン錠4mg<br>カルデナリンOD錠0.5mg<br>カルデナリンOD錠1mg<br>カルデナリンOD錠2mg<br>カルデナリンOD錠4mg | | 本剤の投与初期又は用量の急増時等に起立性低血圧に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う作業に従事する場合には注意させること。 |
| カルブロック錠8mg<br>カルブロック錠16mg | | 降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させる |
| カルベジロール錠1.25mg「サワイ」<br>カルベジロール錠2.5mg「サワイ」<br>カルベジロール錠10mg「サワイ」<br>カルベジロール錠20mg「サワイ」 | ○ | (5)めまい・ふらつきがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者（特に投与初期や増量時）には、自動車の運転等危険を伴う機械の作業をしないように注意させること。 |
| ガンシクロビル点滴静注用500mg「VTRS」 | ○ | (4)ガンシクロビル製剤の投与により痙攣、鎮静、めまい、運動失調、錯乱が報告されているので、本剤投与中の患者には自動車の運転、危険を伴う機械の操作等に従事させないこと。 |
| カンデサルタン錠2mg「あすか」<br>カンデサルタン錠4mg「あすか」<br>カンデサルタン錠8mg「あすか」<br>カンデサルタン錠12mg「あすか」 | | (4)降圧作用に基づくめまい，ふらつきがあらわれることがあるので，高所作業，自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること. |
| キサラタン点眼液0.005% | ○ | (4)本剤の点眼後、一時的に霧視があらわれることがあるため、症状が回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事させないよう注意すること。 |
| ギャバロン髄注0.005%<br>ギャバロン髄注0.05%<br>ギャバロン髄注0.2% | ○ | (2)眠気等を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意すること。 |
| クエチアピン錠12.5mg「明治」<br>クエチアピン錠25mg「明治」<br>クエチアピン錠50mg「明治」<br>クエチアピン錠100mg「明治」<br>クエチアピン錠200mg「明治」<br>クエチアピン細粒50%「明治」 | ○ | (6)本剤は主として中枢神経系に作用するため、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| クービビック錠25mg<br>クービビック錠50mg | ○ | 本剤の影響が服用の翌朝以後に及び、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| グラアルファ配合点眼液 | | 眠気、めまい、霧視等を起こすことがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事する場合は注意させること。 |
| クラビット錠250mg<br>クラビット錠500mg<br>クラビット細粒10% | | 意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト　　2017年3月13日初版作成
（当院採用薬を中心に作成）　　2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| クラビット点滴静注バッグ500mg/100mL<br>クラビット点滴静注500mg/20mL | | (2)意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。 |
| グラマリール細粒10%<br>グラマリール錠25mg<br>グラマリール錠50mg | ○ | (1)眠気、めまい・ふらつき等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| グランダキシン錠50<br>グランダキシン細粒10% | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| クランポール末<br>クランポール錠200mg | ○ | (2)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| グリベック錠100mg | | (7)めまい、眠気、霧視等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させる |
| グリミクロンHA錠20mg<br>グリミクロン錠40mg | | (5)重篤かつ遷延性の低血糖症を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 また、低血糖症に関する注意について、患者及びその家族に十分徹底させること。 |
| グリメピリド錠0.5mg「VTRS」<br>グリメピリド錠1mg「VTRS」<br>グリメピリド錠3mg「VTRS」 | | (5)重篤かつ遷延性の低血糖を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。また、低血糖に関する注意について、患者及びその家族に十分徹底させること。 |
| グルカゴンGノボ注射用1mg | | [2]低血糖に基づくめまい、ふらつき、意識障害を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| グルコバイ錠50mg<br>グルコバイ錠100mg | | 低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| グルファスト錠5mg<br>グルファスト錠10mg<br>グルファストOD錠5mg<br>グルファストOD錠10mg | | (2)本剤は，ときに低血糖症状を起こすことがあるので，高所作業，自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。低血糖症状が認められた場合にはショ糖，ブドウ糖，又は十分量のブドウ糖を含む清涼飲料水等を摂取すること。ただし，α-グルコシダーゼ阻害剤との併用により低血糖症状が認められた場合には，α-グルコシダーゼ阻害剤が二糖類の消化・吸収を遅延するので，ショ糖ではなく，ブドウ糖を投与するなど適切な |
| グルベス配合錠 | | (1)本剤は，ときに低血糖症状を起こすことがあるので，高所作業，自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。低血糖症状が認められた場合には，ショ糖ではなくブドウ糖，又は十分量のブドウ糖を含む清涼飲料水等を摂取すること。なお，患者に対し低血糖症状及びその対処方法について十分説明すること。（「副作用」の項参照） |
| クロザリル錠25mg<br>クロザリル錠100mg | ○ | (10)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| クロチアゼパム錠5mg「サワイ」<br>クロチアゼパム錠10mg「サワイ」 | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| クロミッド錠50mg | ○ | (1)霧視等の視覚症状があらわれることがあるので、服用中は自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ケアロードLA錠60μg | | 意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| ゲフィチニブ錠250mg「DSEP」 | | 臨床試験において無力症が報告されているので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意するよう指導すること。 |
| ゲムシタビン点滴静注液200mg/5mL「NK」<br>ゲムシタビン点滴静注液1g/25mL「NK」 | ○ | 本剤投与時に傾眠が認められることがあるので、このような症状が発現しないことが確認されるまで、自動車の運転等は行わないように注意すること。 |
| ゲムシタビン点滴静注用200mg「ヤクルト」<br>ゲムシタビン点滴静注用1g「ヤクルト」 | ○ | (5)本剤投与時に傾眠が認められることがあるので、このような症状が発現しないことが確認されるまで、自動車の運転等は行わないように注意すること。 |
| ケレンディア錠10mg<br>ケレンディア錠20mg | | 降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させる |
| コニール錠2<br>コニール錠4<br>コニール錠8 | | 降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| コバシル錠2mg<br>コバシル錠4mg | | (5)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| コムタン錠100mg | ○ | (3)前兆のない突発的睡眠、傾眠、起立性低血圧があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転、高所での作業等、危険を伴う作業には従事させないように注意すること。 |
| コララン錠2.5mg<br>コララン錠5mg<br>コララン錠7.5mg | ○ | 8.3　光視症、霧視、めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械の操作をする際には患者に十分注意させること。また、これらの症状が認められた場合は、自動車の運転等危険を伴う操作に従事しないよう指導すること。 |
| コルスバ静注透析用シリンジ25.0μg | ○ | 眠気、めまい等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意すること。 |
| コンサータ錠18mg<br>コンサータ錠27mg<br>コンサータ錠36mg | ○ | (7)めまい、眠気、視覚障害等が発現するおそれがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意すること。 |
| コントミン糖衣錠12.5mg<br>コントミン糖衣錠25mg<br>コントミン糖衣錠50mg<br>コントミン糖衣錠100mg | ○ | (1)眠気，注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること. |
| ザーコリカプセル200mg<br>ザーコリカプセル250mg | | (6)視覚障害（視力障害、光視症、霧視、硝子体浮遊物、複視、視野欠損、羞明、視力低下等）があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ザイザル錠5mg | ○ | (1)眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう十分注意するこ |
| サイプレジン1%点眼液 | ○ | 散瞳又は調節麻痺が起こるので、本剤投与中の患者には、散瞳又は調節麻痺が回復するまで自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。また、サングラスを着用する等太陽光や強い光を直接見ないよう指導すること。 |
| サインバルタカプセル20mg<br>サインバルタカプセル30mg | | (7)眠気，めまい等が起こることがあるので，自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には十分注意させること。また，患者に，これらの症状を自覚した場合は自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事しないよう，指導すること。 |
| ザクラス配合錠LD<br>ザクラス配合錠HD | | (6)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ザジテンカプセル1mg | ○ | (3)眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう十分注意するこ |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト　　2017年3月13日初版作成
（当院採用薬を中心に作成）　　2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| ザジテンドライシロップ0.1% | ○ | (3)眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう十分注意するこ |
| ザファテック錠100mg<br>ザファテック錠50mg<br>ザファテック錠25mg | | 低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| サムスカOD錠7.5mg<br>サムスカOD錠15mg<br>サムスカOD錠30mg<br>サムスカ顆粒1% | ○ | 心不全、肝硬変における体液貯留の場合<br>めまい等があらわれることがあるので、転倒に注意すること。また、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。<br>常染色体優性多発性のう胞腎の場合<br>失神、意識消失、めまい等があらわれることがあるので、転倒に注意すること。また、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| サムタス点滴静注用8mg | | めまい等があらわれることがあるので、転倒に注意すること。また、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ザラカム配合点眼液 | ○ | (7)本剤の点眼後、一時的に霧視があらわれることがあるため、症状が回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事させないよう注意すること。 |
| サラジェン錠5mg | | (1)縮瞳を起こすおそれがあるので，投与中の患者には夜間の自動車の運転及び暗所での危険を伴う機械の操作に注意させること。 |
| サリグレンカプセル30mg | | (2)縮瞳を起こすおそれがあるので、投与中の患者には夜間の自動車の運転及び暗所での危険を伴う機械の操作に注意させること。 |
| ザルティア錠2.5mg<br>ザルティア錠5mg | | (5)臨床試験において、めまいや視覚障害が認められているので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| サレドカプセル25<br>サレドカプセル50<br>サレドカプセル100 | ○ | (5)傾眠、眠気、めまい、徐脈、起立性低血圧が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| サンピロ点眼液0.5%<br>サンピロ点眼液1%<br>サンピロ点眼液2%<br>サンピロ点眼液3%<br>サンピロ点眼液4% | ○ | 縮瞳（暗黒感）又は調節痙攣が起こるので、本剤投与中の患者には、縮瞳（暗黒感）又は調節痙攣が回復するまで自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| サンリズムカプセル25mg<br>サンリズムカプセル50mg | | めまい等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。 |
| ジアゼパム錠2「トーワ」<br>ジアゼパム錠5「トーワ」 | ○ | (1)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| シアナマイド内用液1%「タナベ」 | ○ | (6)注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること. |
| シアリス錠5mg<br>シアリス錠10mg<br>シアリス錠20mg | | (7)臨床試験において、めまいや視覚障害が認められているので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ジェイゾロフト錠25mg<br>ジェイゾロフト錠50mg<br>ジェイゾロフト錠100mg<br>ジェイゾロフトOD錠25mg<br>ジェイゾロフトOD錠50mg<br>ジェイゾロフトOD錠100mg | | (5)眠気、めまい等があらわれることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には十分注意させること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト　　2017年3月13日初版作成
（当院採用薬を中心に作成）　　2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| ジェニナック錠200mg | | (2)意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。 |
| ジクトルテープ75mg | ○ | 本剤使用中に眠気、めまい、霧視を訴える患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように十分注意するこ |
| シクレスト舌下錠5mg<br>シクレスト舌下錠10mg | ○ | (5)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ジクロフェナクNa徐放カプセル37.5mg「トーワ」 | ○ | (7)本剤投与中に眠気、めまい、霧視を訴える患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように十分注意するこ |
| ジクロフェナクNa錠25mg「トーワ」 | ○ | (9)本剤投与中に眠気、めまい、霧視を訴える患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように十分注意するこ |
| ジクロフェナクナトリウム坐剤12.5mg「JG」<br>ジクロフェナクナトリウム坐剤25mg「JG」<br>ジクロフェナクナトリウム坐剤50mg「JG」 | ○ | (10)本剤投与中に眠気、めまい、霧視を訴える患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように十分注意すること。 |
| ジスバルカプセル40mg | ○ | 傾眠、鎮静等が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等の危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意す |
| ジスロマック錠250mg | | (4)意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。 |
| ジスロマック点滴静注用500mg | | (4)意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。 |
| ジプレキサザイディス錠2.5mg<br>ジプレキサザイディス錠5mg<br>ジプレキサザイディス錠10mg | ○ | (9)傾眠、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には高所での作業あるいは自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ジプレキサ筋注用10mg | ○ | (10)傾眠、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、高所での作業あるいは自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ジプレキサ錠2.5mg<br>ジプレキサ錠5mg<br>ジプレキサ錠10mg | ○ | (9)傾眠、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には高所での作業あるいは自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| シベノール錠50mg<br>シベノール錠100mg | ○ | (6)めまい、ふらつき、低血糖があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ジャディアンス錠10mg<br>ジャディアンス錠25mg | | (12)低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときは注意すること。［「重大な副作用」の項参照］ |
| ジャヌビア錠12.5mg<br>ジャヌビア錠25mg<br>ジャヌビア錠50mg<br>ジャヌビア錠100mg | | (9)低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| シュアポスト錠0.25mg<br>シュアポスト錠0.5mg | | (2)低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。低血糖症状（めまい・ふらつき、ふるえ、空腹感、冷汗、意識消失等）が認められた場合には通常はショ糖を投与し、α-グルコシダーゼ阻害剤（アカルボース、ボグリボース、ミグリトール）との併用により低血糖症状が認められた場合には、α-グルコシダーゼ阻害剤が二糖類の消化・吸収を遅延するので、ショ糖ではなくブドウ糖を投与するなど適切な処置を行うこと。〔「重大な副作用」の |
| ジルチアゼム塩酸塩Rカプセル100mg「サワイ」<br>ジルチアゼム塩酸塩Rカプセル200mg「サワイ」 | | (2)降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト　　2017年3月13日初版作成
（当院採用薬を中心に作成）　　2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| ジルチアゼム塩酸塩錠30mg「日医工」<br>ジルチアゼム塩酸塩錠60mg「日医工」 | | (2)降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので，高所作業，自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ジルテックドライシロップ1.25% | ○ | (1)眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう十分注意するこ |
| シルニジピン錠5mg「サワイ」<br>シルニジピン錠10mg「サワイ」<br>シルニジピン錠20mg「サワイ」 | | 降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| シロドシン錠2mg「DSEP」<br>シロドシン錠4mg「DSEP」<br>シロドシンOD錠2mg「DSEP」<br>シロドシンOD錠4mg「DSEP」 | | めまいなどがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転など危険を伴う作業に従事する場合には注意させること。 |
| シンメトレル錠50mg<br>シンメトレル錠100mg<br>シンメトレル細粒10% | ○ | (4)めまい、ふらつき、立ちくらみ、霧視等があらわれることがあるので、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないよう注意すること。 |
| スーグラ錠25mg<br>スーグラ錠50mg | | (12)低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| スージャヌ配合錠 | | (14)低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| スーテントカプセル12.5mg | | (12)めまい、傾眠、意識消失等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| スープレン吸入麻酔液 | ○ | (4)麻酔の影響が完全に消失するまでは、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| スターシス錠30mg<br>スターシス錠90mg | | (2)本剤の服用後、低血糖及び低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。低血糖症状が認められた場合には通常はショ糖を投与すること。ただし、α-グルコシダーゼ阻害剤（アカルボース、ボグリボース等）との併用により低血糖症状が認められた場合には、α-グルコシダーゼ阻害剤が二糖類の消化・吸収を遅延するので、ショ糖ではなくブドウ糖を投与するなど適切な処置を行うこと。なお、患者に対し低血糖症状及びその対処方法に |
| スタレボ配合錠L50<br>スタレボ配合錠L100 | ○ | (4)前兆のない突発的睡眠、傾眠、起立性低血圧等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転、高所での作業等、危険を伴う作業には従事させないように注意すること。<br>（「4.副作用（1）重大な副作用」の項参照） |
| ステーブラ錠0.1mg<br>ステーブラOD錠0.1mg | | (2)眼調節障害（羞明、霧視、眼の異常感等）、めまい、眠気があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に注意させること。 |
| ストラテラ内用液0.4% | ○ | (6)眠気、めまい等が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| スピロノラクトン錠25mg「トーワ」 | | (2)降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| スマトリプタン錠50mg「トーワ」 | ○ | (3)片頭痛あるいは本剤投与により眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械操作に従事させないよう十分注意すること。 |
| セイブルOD錠25mg<br>セイブルOD錠50mg<br>セイブルOD錠75mg | | (6)低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| セディール錠5mg<br>セディール錠10mg<br>セディール錠20mg | ○ | (3)眠気・めまい等が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| セパゾン散1%<br>セパゾン錠1<br>セパゾン錠2 | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ゼプリオン水懸筋注25mgシリンジ<br>ゼプリオン水懸筋注50mgシリンジ<br>ゼプリオン水懸筋注75mgシリンジ<br>ゼプリオン水懸筋注100mgシリンジ<br>ゼプリオン水懸筋注150mgシリンジ | ○ | (4)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ゼポジアカプセルスターターパック<br>ゼポジアカプセル0.92mg | | 本剤の漸増期間中には、めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械の作業をする際には注意させること。 |
| セララ錠25mg<br>セララ錠50mg<br>セララ錠100mg | | (6)降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| セリンクロ錠10mg | | 注意力障害、浮動性めまい、傾眠等が起こることがあるので、本剤を服用している患者には自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| セルシン散1%<br>2mgセルシン錠<br>5mgセルシン錠<br>10mgセルシン錠 | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| セルトラリンOD錠25mg「トーワ」<br>セルトラリンOD錠50mg「トーワ」<br>セルトラリンOD錠100mg「トーワ」 | | (5)眠気、めまい等があらわれることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には十分注意させること。 |
| セレコキシブ錠100mg「VTRS」<br>セレコキシブ錠200mg「VTRS」 | | 浮動性めまい、回転性めまい、傾眠等が起こることがあるので、自動車の運転等危険を伴う作業に従事する場合には注意させるこ |
| セレコックス錠100mg<br>セレコックス錠200mg | | (9)浮動性めまい、回転性めまい、傾眠等が起こることがあるので、自動車の運転等危険を伴う作業に従事する場合には注意させ |
| セレニカR顆粒40%<br>セレニカR錠200mg<br>セレニカR錠400mg | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| セレネース錠0.75mg<br>セレネース錠1mg<br>セレネース錠1.5mg<br>セレネース錠3mg<br>セレネース細粒1% | ○ | (1)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| セレネース注5mg | ○ | (2)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| セロクエル25mg錠<br>セロクエル100mg錠<br>セロクエル200mg錠<br>セロクエル細粒50% | ○ | (6)本剤は主として中枢神経系に作用するため、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ゾーミッグRM錠2.5mg | ○ | (4)片頭痛あるいは本剤投与により眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械操作に従事させないよう十分注意すること。 |
| ソセゴン注射液15mg | ○ | (2)眠気、めまい、ふらつき等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| ゾビラックス錠200<br>ゾビラックス錠400 | ○ | 意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。なお、腎機能障害患者では、特に意識障害等があらわれやすいので、患者の状態によっては従事させないよう注意す |
| ゾビラックス顆粒40% | ○ | 自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。なお、腎機能障害患者では、特に意識障害等があらわれやすいので、患者の状態によっては従事させないよう注意すること。 |
| ソラナックス0.4mg錠<br>ソラナックス0.8mg錠 | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ソリフェナシンコハク酸塩OD錠2.5mg「トーワ」<br>ソリフェナシンコハク酸塩OD錠5mg「トーワ」 | | 眼調節障害（霧視等）、傾眠が起こることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う作業に従事する場合には注意させ |
| ゾルピデム酒石酸塩OD錠5mg「トーワ」<br>ゾルピデム酒石酸塩OD錠10mg「トーワ」 | ○ | 本剤の影響が翌朝以後に及び、眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下が起こることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ゾレア皮下注75mgシリンジ<br>ゾレア皮下注150mgシリンジ<br>ゾレア皮下注75mgペン<br>ゾレア皮下注150mgペン<br>ゾレア皮下注300mgペン | | 本剤投与中にめまい、疲労、失神、傾眠があらわれることがあるため、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事する場合には十分に注意させること。 |
| ダイアモックス注射用500mg | | (1)連用する場合、電解質異常があらわれることがあるので定期的に検査を行うこと。<br>(2)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ダイアモックス末<br>ダイアモックス錠250mg | | (1)連用する場合、電解質異常があらわれることがあるので定期的に検査を行うこと。<br>(2)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| タシグナカプセル150mg<br>タシグナカプセル200mg | ○ | (9)めまい、霧視・視力低下等の視力障害等があらわれることがあるので、このような場合には、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| タシグナカプセル50mg<br>タシグナカプセル150mg<br>タシグナカプセル200mg | | めまい、霧視・視力低下等の視力障害等があらわれることがあるので、このような場合には、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| タダラフィル錠2.5mgZA「ニプロ」<br>タダラフィル錠5mgZA「ニプロ」<br>タダラフィル錠20mgAD「TE」 | | 他社が実施した臨床試験において、めまいや視覚障害が認められているので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| タプコム配合点眼液 | ○ | (7)本剤の点眼後、一時的に霧視があらわれることがあるため、その症状が回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事させないよう注意すること。 |
| タプロス点眼液0.0015%<br>タプロスミニ点眼液0.0015% | ○ | (4)本剤の点眼後、一時的に霧視があらわれることがあるため、その症状が回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事させないよう注意すること。 |
| タペンタ錠25mg<br>タペンタ錠50mg<br>タペンタ錠100mg | ○ | (3)眠気、めまいが起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。特に本剤投与開始時及び用量変更時、並びに飲酒時及び鎮静剤等の併用時には、これらの副作用が増強されるおそれがあるため注意すること。 |
| タムスロシン塩酸塩OD錠0.1mg「VTRS」<br>タムスロシン塩酸塩OD錠0.2mg「VTRS」 | | (5)めまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う作業に従事する場合には注意させること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト　　2017年3月13日初版作成
（当院採用薬を中心に作成）　　2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| タリージェOD錠2.5mg<br>タリージェOD錠5mg<br>タリージェOD錠10mg<br>タリージェOD錠15mg<br>タリージェ錠15mg | ○ | めまい、傾眠、意識消失等が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| タリオン錠5mg<br>タリオン錠10mg | | (1)眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| タンドスピロンクエン酸塩錠5mg「トーワ」<br>タンドスピロンクエン酸塩錠10mg「トーワ」<br>タンドスピロンクエン酸塩錠20mg「トーワ」 | ○ | 眠気・めまい等が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ダントリウムカプセル25mg | ○ | (2)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| チアトンカプセル5mg<br>チアトンカプセル10mg | | 羞明等を起こすことがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に注意させること. |
| チアトンカプセル5mg<br>チアトンカプセル10mg<br>チアトン顆粒2% | | 羞明等を起こすことがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に注意させること. |
| チザニジン錠1mg「トーワ」 | ○ | 反射運動能力の低下、眠気、めまい及び低血圧等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう十分注意すること。 |
| チャンピックス錠0.5mg<br>チャンピックス錠1mg | ○ | (4)めまい、傾眠、意識障害等があらわれ、自動車事故に至った例も報告されているので、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ツイミーグ錠500mg | | 低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| ツートラム錠50mg<br>ツートラム錠100mg<br>ツートラム錠150mg | ○ | 眠気、めまい、意識消失が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。なお、意識消失により自動車事故に至った例も報告されている。 |
| デエビゴ錠2.5mg<br>デエビゴ錠5mg<br>デエビゴ錠10mg | ○ | 本剤の影響が服用の翌朝以後に及び、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| デクスメデトミジン静注液200μg/50mLシリンジ「ニプロ」 | ○ | 局所麻酔下における非挿管での手術及び処置時の鎮静<br>全身状態に注意し、手術・処置後は患者が回復するまで管理下に置くこと。なお、鎮静の影響が完全に消失するまでは自動車の運転、危険を伴う機械の操作等に従事しないよう、患者に注意する |
| テグレトール錠100mg<br>テグレトール錠200mg<br>テグレトール細粒50% | ○ | (3)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| デジレル錠25<br>デジレル錠50 | ○ | (1)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| デスフェラール注射用500mg | ○ | (5)本剤投与中にめまい、視覚・聴覚障害を訴える患者には、本剤投与中は自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させない |
| テトラミド錠10mg<br>テトラミド錠30mg | ○ | (1)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械操作に従事させないように注意すること。 |
| デトルシトールカプセル2mg<br>デトルシトールカプセル4mg | | (4)眼調節障害（霧視等）、めまい、眠気を起こすことがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に注意させること。 |
| テネリア錠20mg<br>テネリア錠40mg | | 低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト　　2017年3月13日初版作成
（当院採用薬を中心に作成）　　2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| テネリアOD錠20mg<br>テネリアOD錠40mg | | 低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| デノシン点滴静注用500mg | ○ | (4)本剤の投与により痙攣、鎮静、めまい、運動失調、錯乱が報告されているので、本剤投与中の患者には自動車の運転、危険を伴う機械の操作等に従事させないこと。 |
| デパケンR錠100mg<br>デパケンR錠200mg | ○ | (8)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| デパケンシロップ5% | ○ | (8)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| デパケン細粒20%<br>デパケン細粒40% | ○ | (8)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| デベルザ錠20mg | | 低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときは注意すること。 |
| デュオトラバ配合点眼液 | ○ | (7)本剤の点眼後、一時的に霧視があらわれることがあるため、症状が回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事させないよう注意すること。 |
| デュロキセチンカプセル20mg「DSEP」<br>デュロキセチンカプセル30mg「DSEP」 | | 眠気、めまい等が起こることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には十分注意させること。また、患者に、これらの症状を自覚した場合は自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事しないよう、指導すること。 |
| テリボン皮下注28.2μgオートインジェクター | | 8.2　一過性の血圧低下に基づくめまいや立ちくらみ、意識消失等があらわれることがあるので、高所での作業、自動車の運転等危険を伴う作業に従事する場合には注意させること。 |
| テリボン皮下注用56.5μg | | (2)一過性の血圧低下に基づくめまいや立ちくらみ、意識消失等があらわれることがあるので、高所での作業、自動車の運転等危険を伴う作業に従事する場合には注意させること。 |
| テルネリン顆粒0.2%<br>テルネリン錠1mg | ○ | (2)反射運動能力の低下、眠気、めまい及び低血圧等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう十分注意すること。 |
| テルミサルタン錠20mg「DSEP」<br>テルミサルタン錠40mg「DSEP」<br>テルミサルタン錠80mg「DSEP」 | | (5)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| テルロン錠0.5 | ○ | (1)血圧下降がみられることがあるので，自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること. |
| トアラセット配合錠「トーワ」 | ○ | (4)眠気、めまい、意識消失が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。なお、意識消失により自動車事故に至った例も報告されている。 |
| トーリセル点滴静注液25mg | ○ | (8)本剤は無水エタノールを含有するため、前投薬で投与される抗ヒスタミン剤とアルコールの相互作用による中枢神経抑制作用の増強の可能性があるので、本剤投与後の患者の経過を観察し、アルコール等の影響が疑われる場合には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ドキサゾシン錠0.5mg「タナベ」<br>ドキサゾシン錠1mg「タナベ」<br>ドキサゾシン錠2mg「タナベ」<br>ドキサゾシン錠4mg「タナベ」 | | (3)本剤の投与初期又は用量の急増時等に起立性低血圧に基づくめまい等があらわれることがあるので，高所作業，自動車の運転等危険を伴う作業に従事する場合には注意させること. |
| ドグマチールカプセル50mg<br>ドグマチール錠50mg | ○ | (2)ときに眠気、めまい等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| ドグマチール錠100mg<br>ドグマチール錠200mg | ○ | (2)ときに眠気、めまい等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ドネペジル塩酸塩OD錠3mg「NP」<br>ドネペジル塩酸塩OD錠5mg「NP」<br>ドネペジル塩酸塩OD錠10mg「NP」 | ○ | アルツハイマー型認知症及びレビー小体型認知症では、自動車の運転等の機械操作能力が低下する可能性がある。また、本剤により、意識障害、めまい、眠気等があらわれることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事しないよう患者等に十分に説明すること。 |
| ドネペジル塩酸塩OD錠3mg「モチダ」<br>ドネペジル塩酸塩OD錠5mg「モチダ」<br>ドネペジル塩酸塩OD錠10mg「モチダ」 | ○ | (5)アルツハイマー型認知症では、自動車の運転等の機械操作能力が低下する可能性がある。また、本剤により、意識障害、めまい、眠気等があらわれることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事しないよう患者等に十分に説明すること。 |
| ドパコール配合錠L50<br>ドパコール配合錠L100<br>ドパコール配合錠L250 | ○ | (5)前兆のない突発的睡眠、傾眠、調節障害および注意力・集中力・反射機能等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意すること。 |
| ドパストンカプセル250mg<br>ドパストン散98.5% | ○ | (4)前兆のない突発的睡眠、傾眠、調節障害及び注意力・集中力・反射機能等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意すること。 |
| ドパストン静注25mg<br>ドパストン静注50mg | ○ | (4)前兆のない突発的睡眠、傾眠、調節障害及び注意力・集中力・反射機能等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意すること。 |
| トビエース錠4mg<br>トビエース錠8mg | | (2)眼調節障害（霧視等）、めまい、眠気等を起こすことがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| トピナ錠25mg<br>トピナ錠50mg<br>トピナ錠100mg | ○ | (6)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| トピラマート錠50mg「アメル」 | | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| トフラニール錠10mg<br>トフラニール錠25mg | ○ | (6)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ドラール錠15<br>ドラール錠20 | ○ | (2)本剤の影響が翌朝以後に及び，眠気，注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので，自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること. |
| トラゼンタ錠5mg | | (6)低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| トラゾドン塩酸塩錠25mg「アメル」<br>トラゾドン塩酸塩錠50mg「アメル」 | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| トラディアンス配合錠AP | | (13)低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときは注意すること。 |
| トラディアンス配合錠AP<br>トラディアンス配合錠BP | | 低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときは注意すること |
| トラバタンズ点眼液0.004% | ○ | (4)本剤の点眼後、一時的に霧視があらわれることがあるため、症状が回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事させないよう注意すること。 |
| トラボプロスト点眼液0.004%「ニットー」 | ○ | 本剤の点眼後、一時的に霧視があらわれることがあるため、症状が回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事させないよう注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| トラマールOD錠25mg | ○ | (3)眠気、めまい、意識消失が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。なお、意識消失により自動車事故に至った例も報告されている。 |
| トラマドール塩酸塩OD錠25mg「KO」 | ○ | 眠気、めまい、意識消失が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。なお、意識消失により自動車事故に至った例も報告されている。 |
| トラムセット配合錠 | ○ | (4)眠気、めまい、意識消失が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。なお、意識消失により自動車事故に至った例も報告されている。 |
| トランコロン錠7.5mg | | 視調節障害を起こすことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に注意させること。 |
| トリクロリールシロップ10% | ○ | (3)本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意すること。 |
| トリプタノール錠10<br>トリプタノール錠25 | ○ | (1)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| トリンテリックス錠10mg<br>トリンテリックス錠20mg | ○ | (6)眠気、めまい等があらわれることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には十分注意させること。また、これらの症状を自覚した場合には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事しないよう患者に指導すること。 |
| トルバプタンOD錠7.5mg「オーツカ」 | | めまい等があらわれることがあるので、転倒に注意すること。また、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| トルリシティ皮下注0.75mgアテオス | | (8)低血糖があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときは注意すること。 |
| トレシーバ注フレックスタッチ | | （慎重投与）<br>低血糖を起こすと事故につながるおそれがある患者（高所作業、自動車の運転等の作業に従事している患者等） |
| トレドミン錠12.5mg<br>トレドミン錠15mg<br>トレドミン錠25mg<br>トレドミン錠50mg | | (5)眠気、めまい等が起こることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には十分注意させること。また、患者に、これらの症状を自覚した場合は自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事しないよう、指導すること。 |
| トレリーフOD錠25mg | ○ | (3)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| トレリーフOD錠25mg<br>トレリーフOD錠50mg | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること |
| ナウゼリンドライシロップ1% | | (2)眠気、めまい・ふらつきがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械操作に注意させる |
| ナウゼリン坐剤10<br>ナウゼリン坐剤30<br>ナウゼリン坐剤60 | | (3)眠気、めまい・ふらつきがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械操作に注意させること。 |
| ナウゼリン錠5<br>ナウゼリン錠10 | | (2)眠気、めまい・ふらつきがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械操作に注意させる |
| ナテグリニド錠30mg「日医工」<br>ナテグリニド錠90mg「日医工」 | | 本剤の服用後、低血糖及び低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| ナトリックス錠1<br>ナトリックス錠2 | | (3)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| ナフトピジルOD錠25mg「トーワ」<br>ナフトピジルOD錠50mg「トーワ」<br>ナフトピジルOD錠75mg「トーワ」 | | まい、立ちくらみ等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う作業に従事する人には注意を与えること。 |
| ナルサス錠2mg<br>ナルサス錠6mg<br>ナルサス錠12mg<br>ナルサス錠24mg | ○ | (3)眠気、めまいが起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ナルベイン注2mg<br>ナルベイン注20mg | ○ | (2)眠気、めまいが起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ナルラピド錠1mg<br>ナルラピド錠2mg<br>ナルラピド錠4mg | ○ | (2)眠気、めまいが起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ナルフラフィン塩酸塩OD錠2.5μg「サワイ」 | ○ | 眠気、めまい等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意すること。 |
| ニカルジピン塩酸塩錠10mg「日医工」<br>ニカルジピン塩酸塩錠20mg「日医工」<br>ニカルジピン塩酸塩散10%「日医工」 | | (2)降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので，高所作業，自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ニトロールRカプセル20mg | | (5)本剤の投与開始時には、他の硝酸・亜硝酸エステル系薬剤と同様に血管拡張作用による頭痛等の副作用を起こすことがある。このような場合には鎮痛剤を投与するか、減量又は中止するなど適切な処置を行うこと。また、これらの副作用のために注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、このような場合には、自動車の運転等の危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ニトロール錠5mg | | (3)本剤の投与開始時には、他の硝酸・亜硝酸エステル系薬剤と同様に血管拡張作用による頭痛等の副作用が起こりやすく、これらの副作用のために注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、このような場合には、自動車の運転等の危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ニトロダームTTS25mg | | (6)本剤使用開始時には他の硝酸・亜硝酸エステル系薬剤と同様に血管拡張作用による頭痛等の副作用を起こすことがある。このような場合には鎮痛剤を投与するか、減量又は使用を中止するなど適切な処置を行うこと。また、これらの副作用のために注意力、集中力、反射運動能力等の低下が起こることがあるので、このような場合には、自動車の運転等の危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ニトロペン舌下錠0.3mg | | (4)本剤の投与開始時には、他の硝酸・亜硝酸エステル系薬剤と同様に血管拡張作用による頭痛等の副作用が起こりやすく、これらの副作用のために注意力、集中力、反射運動等の低下が起こることがあるので、このような場合には、自動車の運転等の危険を伴う機械の操作には従事させないように注意すること。 |
| ニバジール錠2mg<br>ニバジール錠4mg | | (2)降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ニフェジピンCR錠10mg「トーワ」<br>ニフェジピンCR錠20mg「トーワ」<br>ニフェジピンCR錠40mg「トーワ」 | | (3)降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ニフェジピンL錠10mg「日医工」<br>ニフェジピンL錠20mg「日医工」 | | (3)降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト　　2017年3月13日初版作成
（当院採用薬を中心に作成）　　2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| ニフェジピンカプセル5mg「サワイ」<br>ニフェジピンカプセル10mg「サワイ」 | | (3)降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ニポラジン錠3mg | ○ | 眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械操作には従事させないよう十分注意すること。 |
| ニュープロパッチ2.25mg<br>ニュープロパッチ4.5mg<br>ニュープロパッチ9mg<br>ニュープロパッチ13.5mg<br>ニュープロパッチ18mg | ○ | 警告<br>(1)本剤を含めたドパミン受容体作動薬の投与により突発的睡眠等により自動車事故を起こした例が報告されている。突発的睡眠を起こした症例の中には、傾眠や過度の眠気のような前兆を認めなかった例あるいは投与開始後1年以上経過した後に初めて発現した例も報告されている。患者には本剤の突発的睡眠及び傾眠等についてよく説明し、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないよう注意すること。（〔警告〕の項及び「4.副作用（1）重大な副作用　1）突発的睡眠」の項参照） |
| ニューレプチル錠5mg<br>ニューレプチル錠10mg<br>ニューレプチル錠25mg<br>ニューレプチル細粒10%<br>ニューレプチル内服液1% | ○ | (1)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ニューロタン錠25mg<br>ニューロタン錠50mg<br>ニューロタン錠100mg | | (5)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ネオキシテープ73.5mg | | (1)眼調節障害（視力障害、霧視等）、めまい、眠気があらわれることがあるので、本剤使用中の患者には、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に注意させること。 |
| ネオシネジンコーワ5%点眼液 | ○ | (3)本剤を投与した患者には散瞳が回復するまで自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。また、サングラスを着用するなど太陽光や強い光を直接見ないよう注意す |
| ネオドパストン配合錠L100<br>ネオドパストン配合錠L250 | ○ | 前兆のない突発的睡眠、傾眠、調節障害及び注意力・集中力・反射機能等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意 |
| ネオペリドール注50<br>ネオペリドール注100 | ○ | (4)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ネシーナ錠25mg<br>ネシーナ錠12.5mg<br>ネシーナ錠6.25mg | | (7)低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| ノウリアスト錠20mg | ○ | (2)前兆のない突発的睡眠、睡眠発作、起立性低血圧、傾眠、めまい、意識消失、失神等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転、機械の操作、高所作業等、危険を伴う作業に従事させないように注意すること。 |
| ノーベルバール静注用250mg | ○ | (4)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ノバミン錠5mg | ○ | (1)眠気，注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ノボラピッド30ミックス注フレックスペン | | （慎重投与）<br>低血糖を起こすと事故につながるおそれがある患者（高所作業、自動車の運転等の作業に従事している患者等） |
| ノボラピッド注フレックスペン<br>ノボラピッド注イノレット | | （慎重投与）<br>低血糖を起こすと事故につながるおそれがある患者（高所作業、自動車の運転等の作業に従事している患者等） |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| ノボリン30R注フレックスペン<br>イノレット30R注 | | （慎重投与）<br>低血糖を起こすと事故につながるおそれがある患者（高所作業、自動車の運転等の作業に従事している患者等） |
| ノボリンN注フレックスペン | | （慎重投与）<br>低血糖を起こすと事故につながるおそれがある患者（高所作業、自動車の運転等の作業に従事している患者等） |
| ノボリンR注100単位/mL | | （慎重投与）<br>低血糖を起こすと事故につながるおそれがある患者（高所作業、自動車の運転等の作業に従事している患者等） |
| ノボリンR注フレックスペン | | （慎重投与）<br>低血糖を起こすと事故につながるおそれがある患者（高所作業、自動車の運転等の作業に従事している患者等） |
| ノリトレン錠10mg<br>ノリトレン錠25mg | ○ | (6)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ノルスパンテープ5mg<br>ノルスパンテープ10mg<br>ノルスパンテープ20mg | ○ | (11)眠気、めまい、ふらつきが起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ノルバスク錠2.5mg<br>ノルバスク錠5mg<br>ノルバスク錠10mg<br>ノルバスクOD錠2.5mg<br>ノルバスクOD錠5mg<br>ノルバスクOD錠10mg | | 8.1　降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| パーロデル錠2.5mg | ○ | (1)著しい血圧下降、前兆のない突発的睡眠、傾眠があらわれることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意すること。 |
| バイエッタ皮下注5μgペン300<br>バイエッタ皮下注10μgペン300 | | (10)低血糖を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときは注意すること。また、患者に対し、低血糖症状及びその対処方法について十分説明するこ |
| ハイカムチン注射用1.1mg | | (4)易疲労感が発現した場合には、自動車の運転又は機械の操作に注意させること。 |
| パキシルCR錠6.25mg<br>パキシルCR錠12.5mg<br>パキシルCR錠25mg | | 8.1　眠気、めまい等があらわれることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には十分注意させること。これらの症状は治療開始早期に多くみられている。 |
| パキシル錠5mg<br>パキシル錠10mg<br>パキシル錠20mg | | 眠気、めまい等があらわれることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には十分注意させること。これらの症状は治療開始早期に多くみられている。 |
| バクスミー点鼻粉末剤3mg | | 本剤投与で意識レベルが一時回復しても、低血糖の再発や遷延により、めまい、ふらつき、意識障害を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| パクリタキセル点滴静注液30mg/5mL「ホスピーラ」<br>パクリタキセル点滴静注液100mg/16.7mL「ホスピーラ」<br>パクリタキセル点滴静注液30mg/5mL「NK」<br>パクリタキセル点滴静注液100mg/16.7mL「NK」 | ○ | (10)本剤は無水エタノールを含有するため、前投薬で投与されるジフェンヒドラミン塩酸塩錠とアルコールの相互作用による中枢神経抑制作用の増強の可能性があるので、本剤投与後の患者の経過を観察し、アルコール等の影響が疑われる場合には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| バップフォー錠10<br>バップフォー錠20<br>バップフォー細粒2% | ○ | 眼調節障害、眠気、めまいがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事させないよう十分に注意すること。 |
| バビースモ硝子体内注射液120mg/mL<br>バビースモ硝子体内注射用キット120mg/mL | ○ | 本剤の硝子体内注射後、一時的に視覚障害があらわれることがあるため、視機能が十分に回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事させないよう注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト　　2017年3月13日初版作成
（当院採用薬を中心に作成）　　2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| バラシクロビル錠500mg「トーワ」 | | (11)意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。なお、腎機能障害患者では、特に意識障害等があらわれやすいので、患者の状態によっては従事させないよう注 |
| バラシクロビル顆粒50%「トーワ」 | | (11)意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。なお、腎機能障害患者では、特に意識障害等があらわれやすいので、患者の状態によっては従事させないよう注 |
| バルサルタン錠20mg「サンド」<br>バルサルタン錠40mg「サンド」<br>バルサルタン錠80mg「サンド」<br>バルサルタン錠160mg「サンド」 | | (7)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ハルシオン0.125mg錠<br>ハルシオン0.25mg錠 | ○ | (2)本剤の影響が翌朝以後に及び、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| バルトレックス錠500 | | 意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。なお、腎機能障害患者では、特に意識障害等があらわれやすいので、患者の状態によっては従事させないよう注意す |
| バルトレックス顆粒50% | | ＜効能共通＞ 8.1　各効能又は効果に対し設定された用法及び用量で投与した場合、本剤投与時のアシクロビル曝露は、アシクロビル経口製剤投与時よりも高いことから、副作用の発現に留意すること。<br>8.2　意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。なお、腎機能障害患者では、特に意識障害等があらわれやすいので、患者の状態によっては従事させないよう注意すること。［7.2、9.2.1参照］<br>＜水痘＞ 8.3　治療上の有益性と危険性を勘案して投与するこ |
| ハルナールD錠0.1mg<br>ハルナールD錠0.2mg | | めまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う作業に従事する場合には注意させること。 |
| バルプロ酸Na錠100mg「フジナガ」<br>バルプロ酸Na錠200mg「フジナガ」<br>バルプロ酸Naシロップ5%「フジナガ」 | ○ | (8)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| バルプロ酸ナトリウム細粒20%「EMEC」<br>バルプロ酸ナトリウム細粒40%「EMEC」 | ○ | (8)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| バルプロ酸ナトリウム徐放錠A100mg「トーワ」<br>バルプロ酸ナトリウム徐放錠A200mg「トーワ」 | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ハルロピテープ8mg<br>ハルロピテープ16mg<br>ハルロピテープ24mg<br>ハルロピテープ32mg<br>ハルロピテープ40mg | ○ | (1)ドパミン受容体作動薬の投与において、突発的睡眠により自動車事故を起こした例が報告されている。患者には突発的睡眠及び傾眠等についてよく説明し、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないよう注意すること。なお、海外において突発的睡眠を起こした症例の中には、傾眠や過度の眠気のような前兆を認めなかった例あるいは投与開始後1年以上経過した後に初めて発現した例も報告されている。（「副作用」の項 |
| バレリン錠100mg<br>バレリン錠200mg<br>バレリンシロップ5% | ○ | (8)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| パロキセチン錠5mg「VTRS」<br>パロキセチン錠10mg「VTRS」<br>パロキセチン錠20mg「VTRS」 | | (1)眠気、めまい等があらわれることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には十分注意させること。これらの症状は治療開始早期に多くみられている。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| ハロペリドール注5mg「ヨシトミ」 | ○ | 眠気，注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること. |
| ハロマンス注50mg<br>ハロマンス注100mg | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ビ・シフロール錠0.125mg<br>ビ・シフロール錠0.5mg | ○ | 警告<br>(1)突発的睡眠等により自動車事故を起こした例が報告されている。突発的睡眠を起こした症例の中には、傾眠や過度の眠気のような前兆を認めなかった例あるいは投与開始後1年以上経過した後に初めて発現した例も報告されている。患者には本剤の突発的睡眠及び傾眠等についてよく説明し、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないよう注意すること。<br>［「警告」、「副作用」の項参照］ |
| ピーゼットシー糖衣錠2mg<br>ピーゼットシー糖衣錠4mg<br>ピーゼットシー糖衣錠8mg | ○ | (1)眠気，注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること. |
| ピオグリタゾン錠15mg「トーワ」<br>ピオグリタゾン錠30mg「トーワ」 | | (10)低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| ビクトーザ皮下注18mg | | (9)低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| ビスダイン静注用15mg | ○ | (3)本剤投与後、視覚異常、視力低下又は視野欠損等の視覚障害が発現することがあるので、このような症状が続いている間は高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう患者を十分指導すること。 |
| ビソノテープ2mg<br>ビソノテープ4mg<br>ビソノテープ8mg | | (5)めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者（特に投与初期）には自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ビソプロロールフマル酸塩錠0.625mg「サワイ」<br>ビソプロロールフマル酸塩錠2.5mg「サワイ」<br>ビソプロロールフマル酸塩錠5mg「サワイ」 | | めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者（特に投与初期）には自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ヒダントール錠25mg<br>ヒダントール錠100mg | ○ | (4)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ビデュリオン皮下注用2mg<br>ビデュリオン皮下注用2mgペン | | (14)低血糖を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときは注意すること。また、患者に対し、低血糖症状及びその対処方法について十分説明するこ |
| ヒドロキシクロロキン硫酸塩錠200mg「DSEP」 | | 視調節障害、霧視等の視覚異常や低血糖症状があらわれることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械の操作や高所での作業等には注意させること。 |
| ヒドロクロロチアジド錠12.5mg「トーワ」 | | (4)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ビバンセカプセル20mg<br>ビバンセカプセル30mg | ○ | めまい、眠気、視覚障害等が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意すること。 |
| ビプレッソ徐放錠50mg<br>ビプレッソ徐放錠150mg | | 本剤は主として中枢神経系に作用するため、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ビマトプロスト点眼液0.03%「わかもと」 | ○ | 本剤の点眼後、一時的に霧視があらわれることがあるため、症状が回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事させないよう指導すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| ビムパットドライシロップ10% | ○ | 浮動性めまい、霧視、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ビムパット錠50mg<br>ビムパット錠100mg | ○ | (2)浮動性めまい、霧視、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意するこ |
| ビムパット点滴静注100mg<br>ビムパット点滴静注200mg | ○ | (2)浮動性めまい、霧視、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意するこ |
| ヒューマログミックス25注カート<br>ヒューマログミックス25注ミリオペン | | （慎重投与）<br>低血糖を起こすと事故につながるおそれがある患者（高所作業、自動車の運転等の作業に従事している患者等） |
| ヒューマログミックス50注カート<br>ヒューマログミックス50注ミリオペン | | （慎重投与）<br>低血糖を起こすと事故につながるおそれがある患者（高所作業、自動車の運転等の作業に従事している患者等） |
| ヒューマログ注100単位/mL | | （慎重投与）<br>低血糖を起こすと事故につながるおそれがある患者（高所作業、自動車の運転等の作業に従事している患者等） |
| ヒューマログ注カート<br>ヒューマログ注ミリオペン<br>ヒューマログ注ミリオペンHD | | 低血糖があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときは注意すること。 |
| ピルシカイニド塩酸塩カプセル25mg「DSEP」<br>ピルシカイニド塩酸塩カプセル50mg「DSEP」 | | (5)めまい等があらわれることがあるので，自動車の運転等，危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること. |
| ビルダグリプチン錠50mg「トーワ」 | | 低血糖及び低血糖症状を起こすおそれがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意するこ |
| ヒルナミン錠(5mg)<br>ヒルナミン錠(25mg)<br>ヒルナミン錠(50mg)<br>ヒルナミン散50%<br>ヒルナミン細粒10% | ○ | (1)眠気，注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ピルフェニドン錠200mg「日医工」 | ○ | 眠気、めまい、ふらつきが起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ピレスパ錠200mg | ○ | (2)眠気，めまい，ふらつきが起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ピレチア錠(5mg)<br>ピレチア錠(25mg)<br>ピレチア細粒10% | ○ | (1)眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように十分注意すること。 |
| ファムビル錠250mg | | (4)意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。 |
| フィコンパ錠2mg<br>フィコンパ錠4mg<br>フィコンパ細粒1%<br>フィコンパ点滴静注用2mg | ○ | めまい、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転など危険を伴う操作に従事させないよう注意すること。 |
| ブイフェンド200mg静注用 | ○ | 警告<br>3.羞明、霧視、視覚障害等の症状があらわれ、本剤投与中止後も症状が持続することがある。本剤投与中及び投与中止後もこれらの症状が回復するまでは、自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないように十分注意すること。［「重要な基本的注意」、「副作用」の項参照］ |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| ブイフェンド錠50mg<br>ブイフェンド錠200mg | ○ | 警告<br>3.羞明、霧視、視覚障害等の症状があらわれ、本剤投与中止後も症状が持続することがある。本剤投与中及び投与中止後もこれらの症状が回復するまでは、自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないように十分注意すること。［「重要な基本的注意」、「副作用」の項参照］ |
| フェノバール原末<br>フェノバール散10%<br>フェノバール錠30mg<br>フェノバールエリキシル0.4% | ○ | (4)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| フェノバール注射液100mg | ○ | (5)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| フェマーラ錠2.5mg | | 疲労、めまい、まれに傾眠が起こることがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| フェンタニルクエン酸塩1日用テープ0.5mg「テイコク」<br>フェンタニルクエン酸塩1日用テープ1mg「テイコク」<br>フェンタニルクエン酸塩1日用テープ2mg「テイコク」<br>フェンタニルクエン酸塩1日用テープ4mg「テイコク」<br>フェンタニルクエン酸塩1日用テープ6mg「テイコク」 | ○ | 眠気、めまいが起こることがあるので、本剤使用中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| フェンタニル注射液0.1mg「テルモ」<br>フェンタニル注射液0.25mg「テルモ」<br>フェンタニル注射液0.5mg「テルモ」 | ○ | 本剤の影響が完全に消失するまでは、自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意すること。 |
| フェントステープ0.5mg<br>フェントステープ1mg<br>フェントステープ2mg<br>フェントステープ4mg<br>フェントステープ6mg<br>フェントステープ8mg | ○ | (12)眠気、めまいが起こることがあるので、本剤使用中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| フォシーガ錠5mg<br>フォシーガ錠10mg | | (13)低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときは注意すること。 |
| フォルテオ皮下注キット600μg | | (5)起立性低血圧、めまいがあらわれることがあるので、高所での作業、自動車の運転等危険を伴う作業に従事する場合には注意させること。 |
| フスコデ配合シロップ | ○ | (3)眠気，めまいが起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること. |
| ブスコパン錠10mg | ○ | 眼の調節障害等を起こすことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ブスコパン注20mg | ○ | (3)眼の調節障害、眠気、めまい等を起こすことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| プラケニル錠200mg | | 視調節障害、霧視等の視覚異常や低血糖症状があらわれることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械の操作や高所での作業等には注意させること。 |
| プラミペキソール塩酸塩錠0.125mg「DSEP」<br>プラミペキソール塩酸塩錠0.5mg「DSEP」 | ○ | (1)突発的睡眠等により自動車事故を起こした例が報告されている。突発的睡眠を起こした症例の中には、傾眠や過度の眠気のような前兆を認めなかった例あるいは投与開始後1年以上経過した後に初めて発現した例も報告されている。患者には本剤の突発的睡眠及び傾眠等についてよく説明し、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないよう注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト　　2017年3月13日初版作成
（当院採用薬を中心に作成）　　2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| フランドルテープ40mg | ○ | (5)本剤の投与開始時には、他の硝酸・亜硝酸エステル系薬剤と同様に血管拡張作用による頭痛等の副作用を起こすことがある。このような場合には鎮痛剤を投与するか、減量又は投与中止するなど適切な処置を行うこと。 また、これらの副作用のために注意力、集中力、反射運動能力等の低下が起こることがあるので、このような場合には、自動車の運転等の危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ブリィビアクト錠25mg<br>ブリィビアクト錠50mg<br>ブリィビアクト静注25mg | ○ | 傾眠、めまい等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| フリバスOD錠25mg<br>フリバスOD錠50mg<br>フリバスOD錠75mg | | (2)本剤の投与初期又は用量の急増時等に、起立性低血圧に基づくめまい、立ちくらみ等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う作業に従事する人には注意を与えるこ |
| フリバス錠25mg<br>フリバス錠50mg<br>フリバス錠75mg | | (2)本剤の投与初期又は用量の急増時等に、起立性低血圧に基づくめまい、立ちくらみ等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う作業に従事する人には注意を与えるこ |
| プリミドン錠250mg「日医工」<br>プリミドン細粒99.5%「日医工」 | ○ | (4)眠気，注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ブリンゾラミド懸濁性点眼液1%「サンド」 | | 本剤の点眼後、一時的に目がかすむことがあるので、機械類の操作や自動車等の運転には注意させること。 |
| プリンペランシロップ0.1% | ○ | (2)眠気、めまいがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| プリンペラン錠5 | ○ | 眠気、めまいがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ブリィビアクト錠25mg<br>ブリィビアクト錠50mg<br>ブリィビアクト静注25mg | ○ | 傾眠、めまい等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| フルイトラン錠1mg<br>フルイトラン錠2mg | | (4)降圧作用に基づくめまい，ふらつきがあらわれることがあるので，高所作業，自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| フルニトラゼパム錠1mg「JG」<br>フルニトラゼパム錠2mg「JG」 | ○ | 本剤の影響が翌朝以後に及び、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、自動車の運転等の危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| フルボキサミンマレイン酸塩錠25mg「サワイ」<br>フルボキサミンマレイン酸塩錠50mg「サワイ」<br>フルボキサミンマレイン酸塩錠75mg「サワイ」 | ○ | 眠気、意識レベルの低下・意識消失等の意識障害が起こることがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| フルマゼニル静注液0.5mg「ニプロ」 | ○ | ベンゾジアゼピン系薬剤によっては消失半減期が本剤の半減期（約50分）より長いものがあり、これらの薬剤を特に高用量投与していた場合は本剤投与により患者が覚醒した後もベンゾジアゼピン系薬剤の作用が再出現する可能性があるので患者を監視下におき十分注意すること。 また、本剤投与後24時間は危険な機械の操作や自動車の運転等完全な精神的緊張を必要とする仕事に従事させないように注意すること。 |
| ブレーザベスカプセル100mg | ○ | (3)浮動性めまいが報告されているので、本剤投与中は自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| プレガバリンOD錠25mg「VTRS」<br>プレガバリンOD錠75mg「VTRS」<br>プレガバリンOD錠150mg「VTRS」 | ○ | 本剤の投与によりめまい、傾眠、意識消失等があらわれ、自動車事故に至った例もあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。特に高齢者ではこれらの症状により転倒し骨折等を起こした例があるため、十分に注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト　　2017年3月13日初版作成
（当院採用薬を中心に作成）　　2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| プレセデックス静注液200μg/50mLシリンジ「ファイザー」 | ○ | (5)全身状態に注意し、手術・処置後は患者が回復するまで管理下に置くこと。なお、鎮静の影響が完全に消失するまでは自動車の運転、危険を伴う機械の操作等に従事しないよう、患者に注意す |
| プレセデックス静注液200μg「ホスピーラ」 | ○ | (5)全身状態に注意し，手術・処置後は患者が回復するまで管理下に置くこと．なお，鎮静の影響が完全に消失するまでは自動車の運転，危険を伴う機械の操作等に従事しないよう，患者に注意す |
| プレミネント配合錠LD<br>プレミネント配合錠HD | | (11)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| プロサイリン錠20 | | 意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。 |
| フロセミド細粒4%「EMEC」 | | (3)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| フロセミド錠10mg「NP」<br>フロセミド錠20mg「NP」<br>フロセミド錠40mg「NP」 | | (3)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| フロセミド注20mg「NIG」 | | (3)降圧作用に基づくめまい，ふらつきがあらわれることがあるので，高所作業，自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ブロチゾラムOD錠0.25mg「サワイ」 | ○ | (1)本剤の影響が翌朝以後に及び、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、自動車の運転等の危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ブロナンセリン錠2mg「DSEP」<br>ブロナンセリン錠4mg「DSEP」<br>ブロナンセリン錠8mg「DSEP」 | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| プロピベリン塩酸塩錠10mg「タナベ」<br>プロピベリン塩酸塩錠20mg「タナベ」 | ○ | 眼調節障害，眠気，めまいがあらわれることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等，危険を伴う機械の操作に従事させないよう十分に注意すること. |
| プロプラノロール塩酸塩錠10mg「日医工」 | | めまい，ふらつきがあらわれることがあるので，本剤投与中の患者（特に投与初期）には，自動車の運転等危険を伴う機械の作業に注意させること。 |
| ブロプレス錠2<br>ブロプレス錠4<br>ブロプレス錠8<br>ブロプレス錠12 | | 降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| プロポフォール静注1%20mL「マルイシ」<br>プロポフォール静注1%50mL「マルイシ」<br>プロポフォール静注1%100mL「マルイシ」 | ○ | 本剤の影響が完全に消失するまでは、自動車の運転、危険を伴う機械の操作等に従事しないよう、患者に注意すること。 |
| ブロモクリプチン錠2.5mg「F」 | ○ | 著しい血圧下降、前兆のない突発的睡眠、傾眠があらわれることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意すること。 |
| ベイスンOD錠0.2<br>ベイスンOD錠0.3 | | 高所作業、自動車の運転等に従事している糖尿病患者又は耐糖能異常を有する者に投与するときには注意すること。 |
| ベイスン錠0.2<br>ベイスン錠0.3 | | 高所作業、自動車の運転等に従事している糖尿病患者又は耐糖能異常を有する者に投与するときには注意すること。 |
| ベオビュ硝子体内注射用キット<br>120mg/mL | ○ | 本剤の硝子体内注射後、一時的に視覚障害があらわれることがあるため、視機能が十分に回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事させないよう注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| ペガシス皮下注45μg<br>ペガシス皮下注90μg<br>ペガシス皮下注180μg | ○ | (12)めまい、錯乱、傾眠、疲労を発現することがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転、機械の操作になるべく従事させないよう注意すること。 |
| ベシケアOD錠2.5mg<br>ベシケアOD錠5mg | | (5)眼調節障害（霧視等）、傾眠が起こることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う作業に従事する場合には注意させること。 |
| ペチジン塩酸塩注射液35mg「タケダ」<br>ペチジン塩酸塩注射液50mg「タケダ」 | ○ | (2)眠気、眩暈が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意する |
| ベニジピン塩酸塩錠2mg「サワイ」<br>ベニジピン塩酸塩錠4mg「サワイ」<br>ベニジピン塩酸塩錠8mg「サワイ」 | | 降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ベプリコール錠50mg<br>ベプリコール錠100mg | | (7)めまい等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。 |
| ベプリジル塩酸塩錠50mg「TE」<br>ベプリジル塩酸塩錠100mg「TE」 | | めまい等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。 |
| ベポタスチンベシル酸塩錠5mg「タナベ」<br>ベポタスチンベシル酸塩錠10mg「タナベ」 | | (1)眠気を催すことがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること. |
| ベラサスLA錠60μg | | (3)意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。 |
| ベラプロストNa錠20μg「VTRS」 | | (3)意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。 |
| ペリアクチン錠4mg<br>ペリアクチン散1% | ○ | 眠気を催すことがあるので，自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように十分注意すること。 |
| ベリキューボ錠2.5mg<br>ベリキューボ錠5mg<br>ベリキューボ錠10mg | | めまいがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ベルケイド注射用3mg | ○ | (10)疲労、浮動性めまい、失神、起立性低血圧、霧視が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ペルジピン散10%<br>ペルジピン錠10mg<br>ペルジピン錠20mg | | 降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ベルソムラ錠10mg<br>ベルソムラ錠15mg<br>ベルソムラ錠20mg | ○ | (1)本剤の影響が服用の翌朝以後に及び、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ヘルベッサーRカプセル100mg<br>ヘルベッサーRカプセル200mg | | 降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させる |
| ヘルベッサー錠30<br>ヘルベッサー錠60 | | 降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させる |
| ベンザリン錠2<br>ベンザリン錠5<br>ベンザリン錠10<br>ベンザリン細粒1% | ○ | 本剤の影響が翌朝以後に及び，眠気，注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので，自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ボグリボースOD錠0.2mg「トーワ」<br>ボグリボースOD錠0.3mg「トーワ」 | | 高所作業、自動車の運転等に従事している糖尿病患者又は耐糖能異常を有する者に投与するときには注意すること。 |
| ホストイン静注750mg | ○ | (4)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| ボトックス注用50単位<br>ボトックス注用100単位 | | (9)本剤投与後、脱力感、筋力低下、めまい、視力低下があらわれることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ポマリストカプセル1mg<br>ポマリストカプセル2mg<br>ポマリストカプセル3mg<br>ポマリストカプセル4mg | | (4)外国臨床試験において、傾眠、錯乱、疲労、意識レベルの低下、めまいが報告されているので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作を避けるよう注意すること。 |
| ホモクロミン錠10mg | ○ | 眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないように十分注意する |
| ポラキス錠2<br>ポラキス錠3<br>ポラキス錠1 | | 視調節障害、眠気を起こすことがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に注意させること。 |
| ポララミン錠2mg<br>ポララミン散1% | ○ | 眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう十分注意するこ |
| ポララミン注5mg | ○ | 眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう十分注意するこ |
| ボリコナゾール錠50mg「日医工」<br>ボリコナゾール錠200mg「日医工」 | ○ | 警告<br>羞明，霧視，視覚障害等の症状があらわれ，本剤投与中止後も症状が持続することがある。本剤投与中及び投与中止後もこれらの症状が回復するまでは，自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないように十分注意すること。［「重要な基本的注意」及び「副作用」の項参照］ |
| ホリゾン錠2mg<br>ホリゾン錠5mg<br>ホリゾン散1% | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ホリゾン注射液10mg | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ボルタレンSRカプセル37.5mg | | 本剤投与中に眠気、めまい、霧視を訴える患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように十分注意するこ |
| ボルタレンサポ12.5mg<br>ボルタレンサポ25mg<br>ボルタレンサポ50mg | ○ | 本剤投与中に眠気、めまい、霧視を訴える患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように十分注意すること。 |
| ボルタレン錠25mg | ○ | 本剤投与中に眠気、めまい、霧視を訴える患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように十分注意するこ |
| ポンタールカプセル250mg<br>ポンタール錠250mg | | (9)めまい、眠気があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に注意させること。 |
| ボルテゾミブ注射用3mg「DSEP」 | ○ | 疲労、浮動性めまい、失神、起立性低血圧、霧視が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| マイスタン錠5mg<br>マイスタン錠10mg<br>マイスタン細粒1% | ○ | (7)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| マイスリー錠5mg<br>マイスリー錠10mg | ○ | 本剤の影響が翌朝以後に及び、眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下が起こることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| マキュエイド眼注用40mg | ○ | 本剤投与後、霧視、飛蚊症等があらわれることがあるため、その症状が回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事させないよう注意すること。また、国内臨床試験では投与後3ヵ月時点で約半数の患者の眼内に本剤の残存が認められているので、本剤の消失が認められるまで定期的に観察すること。 |
| マクサルト錠10mg<br>マクサルトRPD錠10mg | ○ | (4)片頭痛あるいは本剤投与により眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械操作に従事させないよう十分注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| マクジェン硝子体内注射用キット0.3mg | ○ | (5)本剤の硝子体内注射後、一時的に霧視があらわれることがあるため、その症状が回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事させないよう注意すること。 |
| マリゼブ錠12.5mg<br>マリゼブ錠25mg | | (8)低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| マンジャロ皮下注2.5mgアテオス<br>マンジャロ皮下注5mgアテオス<br>マンジャロ皮下注7.5mgアテオス<br>マンジャロ皮下注10mgアテオス<br>マンジャロ皮下注12.5mgアテオス<br>マンジャロ皮下注15mgアテオス | | 低血糖を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときは注意すること。 |
| ミオコールスプレー0.3mg | | (3)本剤の投与開始時には、他の硝酸・亜硝酸エステル系薬剤と同様に血管拡張作用による頭痛等の副作用が起こりやすく、これらの副作用のために注意力、集中力、反射運動能力等の低下が起こることがあるので、このような場合には、自動車の運転等の危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ミオナール顆粒10%<br>ミオナール錠50mg | ○ | 本剤投与中に脱力感、ふらつき、眠気等が発現することがあるので、その場合には減量又は休薬すること。なお、本剤投与中の患者には自動車の運転など危険を伴う機械の操作には従事させないように注意すること。 |
| ミカトリオ配合錠 | | (10)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ミカムロ配合錠AP<br>ミカムロ配合錠BP | | (6)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ミカルディス錠20mg<br>ミカルディス錠40mg<br>ミカルディス錠80mg | | (5)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ミグシス錠5mg | ○ | (4)眠気等を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意するこ |
| ミグリトールOD錠25mg「サワイ」<br>ミグリトールOD錠50mg「サワイ」<br>ミグリトールOD錠75mg「サワイ」 | | (6)低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| ミケルナ配合点眼液 | ○ | (7)本剤の点眼後、一時的に霧視があらわれることがあるため、症状が回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事させないよう注意すること。 |
| ミコンビ配合錠AP<br>ミコンビ配合錠BP | | (10)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ミダゾラム注10mg「サンド」 | ○ | (4)手術・処置後は全身状態に注意し、基本的運動・平衡機能の回復等に基づき帰宅可能と判断できるまで患者を管理下に置くこと。また、鎮静の影響が完全に消失するまでは自動車の運転等危険を伴う機械操作に従事しないよう、患者に注意すること。 |
| ミチグリニドCa・OD錠5mg「三和」<br>ミチグリニドCa・OD錠10mg「三和」 | | (2)本剤は、ときに低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| ミドリンP点眼液 | ○ | (2)散瞳又は調節麻痺が起こるので、本剤投与中の患者には、散瞳又は調節麻痺が回復するまで自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。また、サングラスを着用する等太陽光や強い光を直接見ないよう指導すること。 |
| ミネブロOD錠2.5mg<br>ミネブロ錠5mg | | （2）降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、<br>自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させるこ |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| ミノサイクリン塩酸塩錠50mg「サワイ」<br>ミノサイクリン塩酸塩錠100mg「サワイ」 | ○ | めまい感があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作及び高所での作業等に従事させないように注意すること。 |
| ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「日医工」 | ○ | (2)めまい感があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作及び高所での作業等に従事させないように注意すること。 |
| ミノマイシンカプセル50mg<br>ミノマイシンカプセル100mg | ○ | めまい感があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作及び高所での作業等に従事させないように注意すること。 |
| ミノマイシン点滴静注用100mg | ○ | (2)めまい感があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作及び高所での作業等に従事させないように注意すること。 |
| ミノマイシン顆粒2% | ○ | めまい感があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作及び高所での作業等に従事させないように注意すること。 |
| ミラペックスLA錠0.375mg<br>ミラペックスLA錠1.5mg | ○ | 警告<br>(1)突発的睡眠等により自動車事故を起こした例が報告されている。突発的睡眠を起こした症例の中には、傾眠や過度の眠気のような前兆を認めなかった例あるいは投与開始後1年以上経過した後に初めて発現した例も報告されている。患者には本剤の突発的睡眠及び傾眠等についてよく説明し、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないよう注意すること。<br>［「警告」、「副作用」の項参照］ |
| ミリステープ5mg | ○ | (5)本剤の投与開始時には、他の硝酸・亜硝酸エステル系薬剤と同様に血管拡張作用により頭痛等の副作用を起こすことがある。このような場合には鎮痛剤を投与するか、減量又は投与中止するなど適切な処置を行うこと。また、これらの副作用のために注意力、集中力、反射運動能力等の低下が起こることがあるので、このような場合には、自動車の運転等の危険を伴う機械の操作に従事させないよう十分に注意すること。 |
| ミルタザピン錠15mg「YD」<br>ミルタザピン錠30mg「YD」 | ○ | (5)眠気、めまい等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ミルナシプラン塩酸塩錠12.5mg「サワイ」<br>ミルナシプラン塩酸塩錠15mg「サワイ」<br>ミルナシプラン塩酸塩錠25mg「サワイ」<br>ミルナシプラン塩酸塩錠50mg「サワイ」 | ○ | 眠気、めまい等が起こることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には十分注意させること。また、患者に、これらの症状を自覚した場合は自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事しないよう、指導すること。 |
| ムコスタ点眼液UD2% | | 本剤の点眼後、一時的に目がかすむことがあるので、機械類の操作や自動車等の運転には注意させること。 |
| メイラックス錠1mg<br>メイラックス錠2mg | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| メインテート錠0.625mg<br>メインテート錠2.5mg<br>メインテート錠5mg | | めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者（特に投与初期）には自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| メキシチールカプセル50mg<br>メキシチールカプセル100mg | ○ | (3)頭がボーとする、めまい、しびれ等の精神神経系症状が発現し、増悪する傾向がある場合には、直ちに減量又は投与を中止すること。また、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| メジコン錠15mg<br>メジコン散10% | ○ | 眠気を催すことがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| メトグルコ錠250mg<br>メトグルコ錠500mg | | (6)低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。また、低血糖症状に関する注意について、患者及びその家族に十分指導 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト　　2017年3月13日初版作成
（当院採用薬を中心に作成）　　2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| メトクロプラミド錠5mg「NIG」 | ○ | (2)眠気、めまいがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| メトホルミン塩酸塩錠250mgMT「トーワ」 | | (6)低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。また、低血糖症状に関する注意について、患者及びその家族に十分指導 |
| メマリー錠5mg<br>メマリー錠10mg<br>メマリー錠20mg<br>メマリーOD錠5mg<br>メマリーOD錠10mg<br>メマリーOD錠20mg | ○ | (2)通常、中等度及び高度アルツハイマー型認知症では、自動車の運転等危険を伴う機械の操作能力が低下することがある。 また、本剤により、めまい、傾眠等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| メマンチン塩酸塩錠5mg「DSEP」<br>メマンチン塩酸塩錠10mg「DSEP」<br>メマンチン塩酸塩錠20mg「DSEP」<br>メマンチン塩酸塩OD錠5mg「DSEP」<br>メマンチン塩酸塩OD錠10mg「DSEP」<br>メマンチン塩酸塩OD錠20mg「DSEP」 | ○ | 8.2　通常、中等度及び高度アルツハイマー型認知症では、自動車の運転等危険を伴う機械の操作能力が低下することがある。また、本剤により、めまい、傾眠等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| メロキシカム錠5mg「タナベ」<br>メロキシカム錠10mg「タナベ」 | ○ | (7)眼の調節障害，眠気等の精神神経系症状があらわれることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう十分注意すること. |
| モービック錠5mg<br>モービック錠10mg | ○ | 眼の調節障害、眠気等の精神神経系症状があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう十分注意すること。 |
| モディオダール錠100mg | ○ | (1)眠気の程度によっては本剤の服用によっても覚醒レベルが正常に復さない可能性があるので、日中の眠気等の臨床症状について観察を十分に行い、必要に応じて自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないように注意すること。 |
| モルヒネ塩酸塩水和物「タケダ」原末 | ○ | (2)眠気、眩暈が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意する |
| モルヒネ塩酸塩注射液10mg「シオノギ」<br>モルヒネ塩酸塩注射液50mg「シオノギ」 | ○ | 眠気，眩暈が起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意する |
| モルヒネ塩酸塩注射液200mg「シオノギ」 | ○ | 眠気，眩暈が起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意する |
| ユバンシ配合錠 | | タダラフィルの臨床試験において、めまいや視覚障害が認められているので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ユーロジン散1%<br>ユーロジン1mg錠<br>ユーロジン2mg錠 | ○ | 本剤の投与により、その影響が翌朝以後に及ぶことがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ユリーフ錠2mg<br>ユリーフ錠4mg<br>ユリーフOD錠2mg<br>ユリーフOD錠4mg | | (3)めまいなどがあらわれることがあるので，高所作業，自動車の運転など危険を伴う作業に従事する場合には注意させること。 |
| ライゾデグ配合注フレックスタッチ | | 低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| ラシックス錠10mg<br>ラシックス錠20mg<br>ラシックス錠40mg<br>ラシックス細粒4% | | (3)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ラタノプロスト点眼液0.005%「ニットー」 | ○ | 本剤の点眼後、一時的に霧視があらわれることがあるため、症状が回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事させないよう注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト　　2017年3月13日初版作成
（当院採用薬を中心に作成）　　2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| ラツーダ錠20mg<br>ラツーダ錠40mg<br>ラツーダ錠60mg<br>ラツーダ錠80mg | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ラニビズマブBS硝子体内注射用キット10mg/mL「センジュ」 | ○ | 本剤の硝子体内注射後、一時的に霧視等があらわれることがあるため、その症状が回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事させないよう注意すること。 |
| ラボナ錠50mg | ○ | (2)本剤投与中の患者には、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ラミクタール錠小児用2mg<br>ラミクタール錠小児用5mg<br>ラミクタール錠25mg<br>ラミクタール錠100mg | ○ | (7)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ラミシール錠125mg | | (6)眠気、めまい・ふらつき等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ラメルテオン錠8mg「武田テバ」 | ○ | 本剤の影響が翌朝以後に及び、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ラモトリギン錠小児用2mg「日医工」<br>ラモトリギン錠小児用5mg「日医工」<br>ラモトリギン錠25mg「日医工」<br>ラモトリギン錠100mg「日医工」 | ○ | (7)眠気，注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等，危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ランタスXR注ソロスター | | （慎重投与）<br>低血糖を起こすと事故につながるおそれがある患者（高所作業、自動車の運転等の作業に従事している患者等） |
| ランタス注ソロスター | | （慎重投与）<br>低血糖を起こすと事故につながるおそれがある患者（高所作業、自動車の運転等の作業に従事している患者等） |
| リーゼ錠5mg<br>リーゼ錠10mg<br>リーゼ顆粒10% | ○ | 眠気，注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること. |
| リーマス錠100<br>リーマス錠200 | ○ | (1)めまい、ねむけ等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械類の操作に従事させないよう注意すること。 |
| リオレサール錠5mg<br>リオレサール錠10mg | ○ | (2)眠気等を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないように注意するこ |
| リキスミア皮下注300μg | | (11)低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| リザトリプタンOD錠10mg「トーワ」 | ○ | 片頭痛あるいは本剤投与により眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械操作に従事させないよう十分注意すること。 |
| リスパダールOD錠0.5mg<br>リスパダールOD錠1mg<br>リスパダールOD錠2mg | ○ | (2)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| リスパダール内用液1mg/mL | ○ | (2)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| リスペリドンOD錠0.5mg「トーワ」<br>リスペリドンOD錠1mg「トーワ」<br>リスペリドンOD錠2mg「トーワ」<br>リスペリドンOD錠3mg「トーワ」 | ○ | (2)眠気，注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること. |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト　　2017年3月13日初版作成
（当院採用薬を中心に作成）　　2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| リスミー錠1mg<br>リスミー錠2mg | ○ | 本剤の影響が翌朝以後に及び，眠気，注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので，自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| リスモダンR錠150mg | | (8)めまい、低血糖等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| リスモダンカプセル100mg<br>リスモダンカプセル50mg | | (8)めまい、低血糖等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| リバスタッチパッチ4.5mg<br>リバスタッチパッチ9mg<br>リバスタッチパッチ13.5mg<br>リバスタッチパッチ18mg | ○ | (4)アルツハイマー型認知症は、自動車の運転等の機械操作能力を低下させる可能性がある。また、本剤は主に投与開始時又は増量時にめまい及び傾眠を誘発することがある。このため、自動車の運転等の危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意するこ |
| リバスチグミンテープ4.5mg「DSEP」<br>リバスチグミンテープ9mg「DSEP」<br>リバスチグミンテープ13.5mg「DSEP」<br>リバスチグミンテープ18mg「DSEP」 | ○ | アルツハイマー型認知症は、自動車の運転等の機械操作能力を低下させる可能性がある。また、本剤は主に投与開始時又は増量時にめまい及び傾眠を誘発することがある。このため、自動車の運転等の危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| リベルサス錠3mg<br>リベルサス錠7mg<br>リベルサス錠14mg | ○ | 低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| リボトリール錠0.5mg<br>リボトリール錠1mg<br>リボトリール錠2mg<br>リボトリール細粒0.1%<br>リボトリール細粒0.5% | ○ | (7)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| リリカカプセル25mg<br>リリカカプセル75mg<br>リリカカプセル150mg<br>リリカOD錠25mg<br>リリカOD錠75mg<br>リリカOD錠150mg | ○ | (1)本剤の投与によりめまい、傾眠、意識消失等があらわれ、自動車事故に至った例もあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。特に高齢者ではこれらの症状により転倒し骨折等を起こした例があるため、十分に注意すること。 |
| リルゾール錠50mg「AA」 | ○ | (6)本剤の投与中に，めまい又は眠気が起こることがあるので，本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないように注意すること. |
| リルテック錠50 | ○ | (6)本剤の投与中に、めまい又は眠気が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないように注意すること。 |
| リン酸コデイン散1%「ホエイ」 | ○ | (1)連用により薬物依存を生じることがあるので、観察を十分に行い、慎重に投与すること。（「4.副作用」の項参照）<br>(2)眠気、眩暈が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意する |
| ルーラン錠4mg<br>ルーラン錠8mg<br>ルーラン錠16mg | ○ | (2)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ルジオミール錠10mg<br>ルジオミール錠25mg | ○ | (6)めまい、眠気等が起こることがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ルセフィ錠2.5mg<br>ルセフィ錠5mg | | (14)低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときは注意すること。 |
| ルセンティス硝子体内注射用キット10mg/mL | ○ | (5)本剤の硝子体内注射後、一時的に霧視等があらわれることがあるため、その症状が回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事させないよう注意すること。 |
| ルティナス腟錠100mg | | (3)傾眠状態や浮動性めまいを引き起こすことがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分説明すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| ルテウム腟用坐剤400mg | | (3)傾眠状態や浮動性めまいを引き起こすことがあるので，自動車の運転等，危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分説明すること. |
| ルネスタ錠1mg<br>ルネスタ錠2mg<br>ルネスタ錠3mg | ○ | (2)本剤の影響が翌朝以降に及び、眠気、注意力、集中力、反射運動能力等の低下が起こることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ルパフィン錠10mg | ○ | (3)眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう十分注意するこ |
| ルプラック錠4mg<br>ルプラック錠8mg | | (3)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ルミガン点眼液0.03% | ○ | (4)本剤の点眼後、一時的に霧視があらわれることがあるため、症状が回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事させないよう指導すること。 |
| ルムジェブ注カート<br>ルムジェブ注ミリオペン<br>ルムジェブ注ミリオペンHD | | 低血糖があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときは注意すること。 |
| レイボー錠50mg<br>レイボー錠100mg | ○ | 本剤投与により眠気、めまい等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう十分注意すること。 |
| レキサルティ錠1mg<br>レキサルティ錠2mg | ○ | (1)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| レキサルティOD錠0.5mg<br>レキサルティOD錠1mg<br>レキサルティOD錠2mg | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| レキソタン錠1<br>レキソタン錠2<br>レキソタン錠5<br>レキソタン細粒1% | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| レギチーン注射液10mg | | (3)降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| レギチーン注射液5mg | ○ | (3)降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| レキップCR錠2mg<br>レキップCR錠8mg | ○ | 警告<br>(1)突発的睡眠により自動車事故を起こした例が報告されていることから、患者には突発的睡眠及び傾眠等についてよく説明し、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないよう注意すること。なお、海外において突発的睡眠を起こした症例の中には、傾眠や過度の眠気のような前兆を認めなかった例あるいは投与開始後1年以上経過した後に初めて発現した例も報告されている。（「副作用」の項参照） |
| レキップ錠0.25mg<br>レキップ錠1mg<br>レキップ錠2mg | ○ | 警告<br>(1)突発的睡眠により自動車事故を起こした例が報告されていることから、患者には突発的睡眠及び傾眠等についてよく説明し、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないよう注意すること。なお、海外において突発的睡眠を起こした症例の中には、傾眠や過度の眠気のような前兆を認めなかった例あるいは投与開始後1年以上経過した後に初めて発現した例も報告されている。（「副作用」の項参照） |
| レクサプロ錠10mg | | (5)眠気、めまい等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には十分注意させること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト　　2017年3月13日初版作成
（当院採用薬を中心に作成）　　2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| レクサプロ錠10mg<br>レクサプロ錠20mg | | 眠気、めまい等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には十分注意させること。 |
| レグナイト錠300mg | ○ | (2)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| レザルタス配合錠LD<br>レザルタス配合錠HD | | (8)降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| レスタミンコーワ錠10mg | ○ | 眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう十分注意するこ |
| レトロゾール錠2.5mg「トーワ」 | | (3)疲労、めまい、まれに傾眠が起こることがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| レナリドミドカプセル5mg「BMSH」 | ○ | 海外臨床試験において、疲労、めまい、傾眠、霧視、錯乱が報告されているので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作を避けるよう注意すること。 |
| レニベース錠2.5<br>レニベース錠5<br>レニベース錠10 | | 降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| レパグリニド錠0.25mg「サワイ」<br>レパグリニド錠0.5mg「サワイ」 | | 低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意すること。 |
| レバチオ錠20mg | | (3)めまいや視覚障害、色視症、霧視等が認められているので自動車の運転や機械の操作に従事する場合には注意させること。 |
| レバチオ錠20mg<br>レバチオODフィルム20mg<br>レバチオ懸濁用ドライシロップ900mg | | めまいや視覚障害、色視症、霧視等が認められているので自動車の運転や機械の操作に従事する場合には注意させること。 |
| レビトラ錠5mg<br>レビトラ錠10mg<br>レビトラ錠20mg | | (6)臨床試験において，めまいや視覚障害が認められているので，高所作業，自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること. |
| レブラミドカプセル2.5mg<br>レブラミドカプセル5mg | | (5)海外臨床試験において、疲労、めまい、傾眠、霧視、錯乱が報告されているので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作を避けるよう注意すること。 |
| レペタン坐剤0.2mg<br>レペタン坐剤0.4mg | ○ | (2)眠気、めまい、ふらつき、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| レペタン注0.2mg<br>レペタン注0.3mg | ○ | (2)眠気、めまい、ふらつき、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| レベチラセタム錠250mg「トーワ」<br>レベチラセタム錠500mg「トーワ」 | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| レベチラセタム点滴静注500mg「明治」 | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| レベチラセタムDS50%「トーワ」 | ○ | 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| レベミル注フレックスペン<br>レベミル注イノレット | | （慎重投与）<br>低血糖を起こすと事故につながるおそれがある患者（高所作業、自動車の運転等の作業に従事している患者等） |
| レボセチリジン塩酸塩錠5mg「武田テバ」 | ○ | (1)眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう十分注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト　　2017年3月13日初版作成
（当院採用薬を中心に作成）　　2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| レボフロキサシン錠250mg「DSEP」<br>レボフロキサシン錠500mg「DSEP」<br>レボフロキサシン細粒10%「DSEP」 | | (2)意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。 |
| レボフロキサシン点滴静注バッグ500mg「HK」 | | 意識障害等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。 |
| レミッチOD錠2.5μg | ○ | (2)眠気、めまい等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意すること。 |
| レミッチカプセル2.5μg | ○ | (2)眠気、めまい等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう注意すること。 |
| レミニール錠4mg<br>レミニール錠8mg<br>レミニール錠12mg<br>レミニールOD錠4mg<br>レミニールOD錠8mg<br>レミニールOD錠12mg<br>レミニール内用液4mg/mL | | (3)アルツハイマー型認知症患者では運転能力や機械操作能力が徐々に低下し、また、本剤の投与によりめまい、眠気が起こる可能性があるので、本剤投与中の患者（特に投与開始の数週間）には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に注意するよう指導すること。 |
| レミフェンタニル静注用2mg「第一三共」<br>レミフェンタニル静注用5mg「第一三共」 | ○ | 麻酔の影響が完全に消失するまでは、自動車の運転や危険を伴う機械の操作等に従事しないよう、患者に注意すること。 |
| レメロン錠15mg<br>レメロン錠30mg | ○ | (5)眠気、めまい等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| レルパックス錠20mg | ○ | (3)片頭痛あるいは本剤投与により眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械操作に従事させないよう十分注意すること。 |
| レンドルミンD錠0.25mg | ○ | 本剤の影響が翌朝以後に及び、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、自動車の運転等の危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| レンビマカプセル4mg<br>レンビマカプセル10mg | | 疲労、無力症、めまい、筋痙縮等があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。 |
| ロートエキス散「ホエイ」 | ○ | 視調節障害、散瞳、羞明、めまい等を起こすことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険をともなう機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ロサルタンK錠25mg「トーワ」<br>ロサルタンK錠50mg「トーワ」<br>ロサルタンK錠100mg「トーワ」 | | 降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。 |
| ロゼレム錠8mg | ○ | (1)本剤の影響が翌朝以後に及び、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。 |
| ロドピン細粒10%<br>ロドピン細粒50%<br>ロドピン錠25mg<br>ロドピン錠50mg<br>ロドピン錠100mg | ○ | (1)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ロナセンテープ20mg<br>ロナセンテープ30mg<br>ロナセンテープ40mg | ○ | (2)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤使用中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ロナセン錠2mg<br>ロナセン錠4mg<br>ロナセン錠8mg<br>ロナセン散2% | ○ | (1)眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |

自動車運転に注意が必要な薬剤リスト
（当院採用薬を中心に作成）

2017年3月13日初版作成
2025年8月7日更新

| 医薬品名 | 禁止 | 重要な基本的注意 |
|---|---|---|
| ロピニロール錠0.25mg「JG」<br>ロピニロール錠1mg「JG」<br>ロピニロール錠2mg「JG」 | ○ | 突発的睡眠により自動車事故を起こした例が報告されていることから、患者には突発的睡眠及び傾眠等についてよく説明し、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないよう注意すること。なお、海外において突発的睡眠を起こした症例の中には、傾眠や過度の眠気のような前兆を認めなかった例あるいは投与開始後1年以上経過した後に初めて発現した例も報告 |
| ロヒプノール錠1<br>ロヒプノール錠2 | ○ | 本剤の影響が翌朝以後におよび、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、自動車の運転等の危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ロプレソールSR錠120mg | | (5)めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者（特に投与初期）には、自動車の運転等危険を伴う機械の作業に注意させること。 |
| ロプレソール錠20mg<br>ロプレソール錠40mg | | (5)めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者（特に投与初期）には、自動車の運転等危険を伴う機械の作業に注意させること。 |
| ロペミンカプセル1mg<br>ロペミン細粒0.1% | ○ | (3)眠気、めまいが起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |
| ロペミン小児用細粒0.05% | ○ | (4)眠気、めまいが起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。 |